

咲耶会の皆様へ

信頼・堅実の会員制結婚相手紹介サービス

幸せにしたい人に出会う。

学士会館・良縁倶楽部

大切な出会い。そして堅実な結婚をあなたに……

学士会の正会員・準会員(咲耶会・国立七大学出身者を中心)^{※1}とその家族の婚活を支援する倶楽部です。

※1 国立七大学：北海道大学・東北大学・東京大学・名古屋大学・京都大学・大阪大学・九州大学

サービス

- 倶楽部会員プロフィールの閲覧(閲覧会員に限る)
※ネット環境のないPCで閲覧し、お見合いの申込みをしていただけます。
(閲覧…無料、申込・お見合い…有料)
- 個別紹介サービス(提携先によるサービス)
- お見合用写真のメイク&撮影
- 成婚後のご相談
- 学士会館メールマガジン会員にご登録

入会条件

学士会の正会員・準会員本人およびその家族とします。また、次の条件を満たす方とします。

- [独身であり、結婚する意志を持っていること]
男性：25歳～ 社会的に確かな職業に就いており真面目にご結婚をお考えの独身の方
女性：20歳～ 真面目にご結婚をお考えの独身の方
- [当倶楽部の趣旨に賛同し、当倶楽部が定める規則を厳守すること]

お問合せ/営業について

メールアドレス：ryoan@gakushikaikan.co.jp

営業時間：11:00～19:00

電話番号：03-3292-5941

定休日：水曜日・木曜日 他不定休

学士会館・良縁倶楽部 <https://www.gakushikaikan.co.jp/ryoan/>
〒101-8459 東京都千代田区神田錦町 3-28



咲耶

会報「咲耶」
2022 No. 33

写真撮影：並川嘉文

咲耶会(大阪大学外国語学部・大阪外国語大学同窓会)

私たちは、塗料事業で培った技術と人財を
最大限に生かした製品・サービスを通じて、
人と社会の発展を支えます。

世界をフィールドに挑戦を続ける



www.kansai.co.jp



【表紙のこぼれ】

新キャンパスの見どころ紹介第一弾は、箕面市立船場図書館と一体化した外国学図書館です。2021年5月1日に開館。大阪大学が指定管理者となり、大学図書館機能を兼ね備えた市立図書館を国立大学法人が運営するという国内初の事例です。1階は書庫、2階から4階が閲覧室です。

箕面キャンパスとは、2階の入口が生協食堂のある3階とデッキでつながり、2023年度末に北大阪急行の「箕面船場阪大前駅」が完成すれば、こちらがメインの玄関になりそうです。

生涯学習センター、文化芸能劇場に隣接、箕面市の文化芸術の総合拠点とも言える複合公共施設の一角を占めています。吹き抜け部のガラスカーテンウォールから自然光を取り入れた、明るく開放的な図書館は読書、学習に最適。箕面市の蔵書約11万冊に加え、旧外国語大学時代から受け継がれた蔵書約60万冊を所蔵し、一般の方の閲覧、貸出も可能です。

目次

2-3 ご挨拶
咲耶会会長 大水 勇
大阪大学統括理事・副学長、同窓会連合会代表幹事 金田安史
外国語学部長 竹村景子
3 箕面国際フェスティバル sakuya radio
4 大阪大学創立90周年・大阪外国語大学創立100周年記念式典
5-8 [特集] 100年後の未来まで伝えよう言葉の力ーモノリスの磁場より25専攻語のメッセージ
9-10 令和3年度大阪大学司馬遼太郎記念学術講演会・箕面新キャンパス開学記念国際シンポジウム
11-12 [特集] 留学体験記 鳥越 綾/高平 央
13-14 私のキャリアレポート 松藤泰代/菊池信孝
15 菜の花 高 康治
16-19 CAMPUS NEWS
20-21 部活動の広場
22-24 咲耶会ニュース
24 令和3年度 決算報告/令和4年度 予算案
25 つどい
25-29 支部日より
29-33 短信
33 物故者 【イタリア支部再建のお知らせ】
34-36 年会費支払者・賛助金寄付者一覧
37 咲耶会(同窓会)本部・支部一覧表
38 令和4年度 咲耶会役員名簿
個人情報の取扱いについて 編集後記

ご挨拶



咲耶会会長
大水 勇

コロナ感染症の大流行が収まり、社会は落ち着きを取り戻しています。日本でもマスクの着用も一部解除となり、以前のような状態に向かいました。

大阪大学創立90周年・大阪外国語大学創立100周年記念式典も終わり、コロナの流行も下火になりましたので咲耶会も徐々に通常の活動を再開していこうと思っています。

コロナ感染症が流行している間にロシアのウクライナへの侵攻が始まり、現在も戦争が続いています。我々が考えていた世界の常識は、変わりつつあります。グローバリズムも根本的に考え直す必要に迫られています。歴史は大きな転換期にあります。我々は、どのような困難が襲ってくるかもしれない時代を生き切っていくか悩まなりません。

ところで咲耶会にとっての懸案事項は、第一にいかにして会員を増やすか、第二にいかにして会費を支払う会員を増やすかです。

大阪大学同窓会連合会では、第一の課題に対し卒業生全員を会員とみなすという案を検討しています。咲耶会がこの案を採用するには様々な議論が予想されます。一つの案として議論を進める必要があります。

第二の会費を支払う会員の増加を図る課題については、現在徐々に会費を支払う会員が増えていますので、この傾向を持続させる必要があります。そのためには『咲耶』誌の充実と各地、職場等で咲耶会の会合を持ち会員の連携強化に努めることだと思っています。

ウイズコロナ時代ですが、咲耶会は様々な活動を続けていきますので、会員の皆様そのような咲耶会の活動を起こしてください。そして活動に参加してください。よろしくお願いいたします。

令和4年6月

ご挨拶

学士会をご存じですか？

学士会は旧七帝大（北大・東北大・東大・名大・京大・阪大・九大）の卒業生・教員・学生からなる、七大学総合同窓団体です。咲耶会の皆さまのご入会をお待ちしております！

学士会会員特典

- 1 『學士會会報』が届きます。
2 講演会・イベントへ参加できます。
3 「学士会館」会員優待があります。

他にも様々な活動が可能です。詳細は学士会公式サイトをご覧ください。
https://www.gakushikai.or.jp/

学士会案内が届く準会員（無料登録）制度もございます。

一般社団法人 学士会

〒101-8459 東京都千代田区神田錦町3-28
03-3292-5933（平日9時～17時）



大阪大学を牽引する外国語学部へ



大阪大学統括理事・副学長、同窓会連合会代表幹事
金田安史

大阪外国語大学と大阪大学が統合して15年が経過しました。2つの大学が統合したので1大学の構成員として振る舞うのが当然と理性的に考える一方で、感情的には、かつてのままの外国語大学でいてほしい、と思ってしまう卒業生の方々も多いのではないのでしょうか。しかし後戻りができない現実を思えば、ノスタルジーに浸りながらも、統合のメリットを1つ1つ見出していくのが今後につながる道だと思います。幸い昨年には、箕面新キャンパスが完成し、外国語学部の教職員・学生の方々、誰もが羨むような最新の設備と美しい環境で大学生活を送ることができています。

大阪大学にとりまして外国語学部を持つ意義は大変大きく、他の国立大学にはない大きな強みなのです。忘れてはいけないことは、外国語学部が単なる語学

学校ではなく、語学教育とともに外国の文化を学べる場であり、大阪大学の一翼を担って総合的な教養教育を提供する組織だということです。このことを大阪大学全体としてもっと意識し、そのメリットを生かしてグローバルな活動をさらに推進していくべきでしょう。

大阪大学の共創機構には、アントレプレナー教育を行うイノベーターズクラブがあります。すでに会員は1000名を超えていますが、その中で最も積極的なのが外国語学部の学生さんです。外国語学部では学部の4年間の中で1年間休学して外国へ留学される人が多いと聞いています。学生の中に外国の様々な文化に触れ、多様な人々と交流することによって、国際的な視野が開かれるのでしょうか。それによって多様な価値観とチャレンジ精神が涵養されていきます。

日本の大学が次第に世界から後れを取り始めている状況を打破していくには、グローバルに通用する人材が活躍できる大学でなければなりません。外国語学部こそ、これからの大阪大学を牽引する組織です。

ますますの発展を期待しています。

新たな100年に向けてのスタートを切りました



外国語学部長
竹村景子

咲耶会のみなさま、いつも外国語学部へのご支援・ご協力を賜り、本当にありがとうございます。

去年はキャンパス移転と100周年が重なりましたが、コロナ禍での様々な行事開催はかなりの困難を極めました。それでも、10月2日、3日に開催した開学記念イベントの「箕面国際フェスティバル」には、のべ6,000名ほどの来場者がありました。地域の多くのステークホルダーのみなさまにも多大なご支援・ご協力をいただき、また、運営事務局を引き受けてくれた学生たちの尽力もあって、大阪大学としても久しぶりの「お祭り」を無事に開催することができました。咲耶会の事務局のみなさまにも大変お世話になりました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

また、11月に開催しました司馬遼太郎記念学術講演会ならびに開学記念国際シンポジウムも、大変好評を博しました。大阪外国語大学記念ホールでの初めてのリアルタイムオンライン開催でしたが、ドイツの多和田葉子さん、東京のリービ英雄さん、そして箕面船場のサヘル・ローズさんを繋いで活発な議論を展開していただきました。ウィズコロナの時代の新しい試みだったと思います。

そして、1年延期となっておりました「大阪大学90周年・大阪外国語大学100周年記念式典」が、去る5月1日に無事に執り行われました。咲耶会からも多くの方がご出席下さいました。塩尻和子先生のご講演は、「外国語を基底とした地域研究」の神髄を改めてご教示下さるものだったと思います。学生たちを教授する者として、身の引き締まる思いで拝聴いたしました。

7月9日には3年ぶりとなった「夏まつり」が無事に開催されました。間谷キャンパスでの運営を全く知らない世代の学生たちが実行委員として携わり、かなり四苦八苦しながらの準備ではありましたが、船場の地域のみなさまの強力なバックアップもあって楽しいお祭りとなりました。今後、新たな伝統になっていくことを願っております。

コロナ禍での大学運営も3年目となり、教職員も学生も「対面」と「オンライン」のハイブリッド状態に慣れてまいりました。もちろん、「人と会ってコミュニケーションをとる」ことの重要性はきちんと認識しつつ、必要な変化には恐れず対応できる学生を育てていきたいと思っております。新たな100年に向けて、教える側の私たちの意識改革も進めていかねばならないと肝に銘じているところです。

最後になりましたが、外国語学部生たちのために、今後も咲耶会のみなさまからの温かいご支援とご協力を賜りたく、心からお願い申し上げます。

ときに、“オンライン”というツールを活用すると逆に地域を超えてより簡単に繋がれるなら、こんな状況だからこそぜひ外大生・外語生がワクワクする内容にとの想いを込めて企画しました。

大阪外国語大学から続く人の繋がりは卒業後それぞれの進路や暮らしもあり、過言ではなく地球上に広がっています。もちろんあの頃の友人にいつでも再会できるということはありません、その繋がりを少しでも感じてもらえるように働きかけられるのが同窓会の可能性でもあり役割として期待されることなのだろうと、オンラインの時期を通じて私は一層感じています。

現役生・教授・職員・同窓生・地域の方など大学に関係するそれぞれの繋がりが見えてくる楽しい2日間でありました。改めて本イベントの開催にご尽力されました皆様と本企画を許して下さった咲耶会に御礼を申し上げます。ありがとうございます。

アーカイブはこちら ▶ <https://youtu.be/1DshPtUYSkM>



2021年10月2日、3日の二日間、大阪大学箕面新キャンパスで「箕面国際フェスティバル」が開催されました。咲耶会ではキャンパス内にライブ配信の簡易ブースを開設し、現役の学生や卒業生、関係者とのトークセッションと新キャンパスツアーを行いました。

企画全体のコンセプトは同窓会という幅広い「つながり」と人を通じた「世界旅行」。これは箕面国際フェスティバル自体のテーマとも重なり、この2年間はどなたにとっても海外や、人と接する機会が減ったことを考えた



大阪大学創立90周年・大阪外国語大学創立100周年記念式典が 挙行されました

5月1日(日)、コロナ禍により一年間延期されていた大阪大学創立90周年・大阪外国語大学創立100周年記念式典・記念講演会が大阪府立国際会議場(グランキューブ大阪)にて挙行されました。大阪大学歴代総長・大阪外国語大学歴代学長の紹介、海外大学学長からのビデオメッセージに続き、西尾章治郎総長が式辞を述べられ、列席者ならびに大阪大学を支える全ての方々に感謝の意を表されました。

文部科学大臣 末松信介氏(代読)、パナソニックホールディングス株式会社取締役会長 津賀一宏氏、国立大学協会会長 永田恭介氏からご祝辞をいただき、式典の最後では、懐かしい映像が流れる中、“10 DECADES

Presenters”により、両学100年の歴史が紹介されました。2021年の大阪外国語学校の創立から始まる100年間を10年毎に区切り、それぞれの時代のゆかりの方々が登壇し、ご自身の思い出やメッセージを披露。大阪大学・大阪外国語大学の過去から未来へと「想いつなげるつむぎあう」時間となりました。

「大学とこれからの世界、そして私たち」のテーマで開催された「記念講演会」では、猪木武徳 大阪大学名誉教授から「産業社会における大学の未来」、塩尻和子 筑波大学名誉教授(大A15)から「『外国語を学ぶ』のその先へ」の演題で、大阪大学の未来につながる貴重なご講演をいただきました。



TMI 総合法律事務所 大阪オフィス

弁護士 大水 勇 (大C15)

〒530-0017 大阪府大阪市北区角田町8-1 梅田阪急ビルオフィスタワー 36階

Tel: 06-6311-0577 / Fax: 06-6311-3978

1 中国語

人文学研究科外国学専攻 教授 古川 裕

誠誠其意者 先致其知 致知在格物 物格而後知至

欲誠其意者 先致其知 致知在格物 物格而後知至
其の意を誠にせんと欲する者は 先ず其の知を致す
知を致すは物に格るに在り 物格りて後知至る

【出典】『大学』（『大学』は儒教の経典、元は『礼記』の中の一編であったが、南宋の朱熹により『論語』『中庸』『孟子』と併せ四書とされた。）

【説明】石柱には「自らの心に誠実であろうとする者は、それに先立ち自らの知識を極めねばならない。知識を極めるためには、物事の道理を窮めねばならない。真理が窮極に至ってこそ、知識が極められる」の語句が篆書で刻まれ、原典では更に「知至後而意誠」（知至りて後意誠なり）が続く。四文字句「格物致知」はこれに依る。
本学で中国語を学ぶ諸君に、物事の真理を窮めるべく知識を深め、誠実な人格を陶冶してくれることを期待して、この言葉を贈る。

2 モンゴル語

人文学研究科外国学専攻 教授 塩谷茂樹

Хүн ахтай Дээл захтай

Хүн ахтай Дээл захтай

人に長あり、衣に襟あり

【出典】『モンゴル秘史』（『元朝秘史』）の33 節より

【説明】本学の100 年にわたるモンゴル語教育の歴史を飾るに精選した諺は、13 世紀前半に著作されたチンギスハーンの一伝記であり、最古の口語文献である『モンゴル秘史』（『元朝秘史』）に由来しています。『モンゴル秘史』の33 節に…beye teri’ütü de’el jaqatu…（体に頭あり、衣に襟あり）と現れますが、現代語 Хүн ахтай Дээл захтай（人に長あり、衣に襟あり）は、まさにその後身に当たり、古来モンゴル民族の目上の人を尊ぶ伝統が如実に反映されています。
日本語の「雁に長幼の列あり」と同様、“人間は世の中の規律を守り、年長者を敬うべきである”という強いメッセージが込められています。

3 インドネシア語

人文学研究科外国学専攻 教授 原 真由子

Kewajiban manusia adalah menjadi manusia.

人間の務めは人間になることだ。

【出典】下記説明を参照

【説明】「どのような人間でも互いに尊重し合い、人間の尊厳を守り抜くことが何よりも大切である」という意味。学生にはどのような状況でも人の尊厳を大事にする人間になってほしい、という願いを込めてこの言葉を選んだ。元々はオランダ領東インドにおける支配の実態を小説によって告発した植民地官僚ムルタトゥーリ（筆名）の言葉である。インドネシアの独裁政権下で自由を奪われた文学者ブラムディア・アナンタ・トゥルが、生涯金言とした。

4 ヒンディー語

人文学研究科外国学専攻 教授 長崎広子

बोली एक अमोल है जो कोई बोले जान।

हिया तराज तौल के तब मुष बाहर आन ।।

言葉はかけがえない宝 語ることを知る者は
心の天秤ではかり口から発する

【出典】15 世紀の詩人カビールカビールの二行詩

【説明】言葉をきちんと選び語ることを、心の天秤に分銅をおいて測る作業に喩えています。ヒンディー語の学習においても、大切な宝である言葉を、慎重に選び過不足なく扱うことのできる「語ることを知る者」になりたいものです。カビールは、ヒンドゥー教とイスラム教から強い影響を受けながら、それを超えた神を説いた思想家であり詩人で、その二行詩は今なおインドで親しまれています。

100年後の未来まで伝えよう言葉の力

モノリスの磁場より 25専攻語のメッセージ

5 ウルドゥー語

人文学研究科外国学専攻 教授 山根 聡

تو شائیں ہے پہاڑ ہے کام تیرا ترے سامنے آسمان اور بھی میں

お前は鷹であり、高く舞上がるべきである

いくつもの大空が、お前が来るのを待っている（松村耕光先生訳）

【出典】Kulliyāt-e Iqbal, Lahore: Publishers United

作者はムハンマド・イクバル（Muhammad Iqbal, 1877-1938）

【説明】イクバルは 20 世紀初めに活躍したウルドゥー語とペルシア語の詩人で、英領下のインド・ムスリムに自立を呼びかける詩を数多く残した。パキスタン建国思想を描いたとして尊敬を集めるばかりでなく、ペルシア詩はイランでも高く評価されている。この詩は有名な「星空のむこうにも世界がある恋の試練はまだ他にもある」で始まるガザル（定型抒情詩）の一詩句で、群れず孤高のまま自由に飛ぶ鷹のように挑めと呼びかけている。

6 ロシア語

人文学研究科外国学専攻 教授 上原順一

Тянут-потянут, вытянуть не могут.

【出典】ロシアの有名な民話『おおきなかぶ』の一節

【説明】石柱の右下には説明文があります。ここに記されたひらがな「おおきなかぶ」を読める子供たちが、おそらく最少歳の読者です。これにはじめて出会ったのは幼稚園、小学校でしたか？ そのとき一緒だったのは誰だったかな。学生のみなさんはロシア語で読んだかも。ロシアの人たちはこの民話が日本でよく知られていることにびっくりするかもしれませんが。いろいろな人たちにいろいろな楽しい思い出を語ってもらいたいと願い、このことばを選びました。

7 ドイツ語

人文学研究科外国学専攻 教授 中川裕之

Wer fremde Sprachen nicht kennt,
weiß nichts von seiner eigenen.

外国語を識らぬ者は、
自らの言語について何も知らない。

【出典】ヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテ『格言集』

【説明】母語とは異なる外国語を知ることによってはじめて我が事すなわち自らの言語についてはじめて自覚的に認識できるようになると文豪ゲーテは言っています。自分の言語—母語—はそれほどまで深く自我と結びついている。自分は何者なのか？この問いを解くにはまず己を取り巻く他者や外界をよく分析しなければならぬとも言えそうです。我が言語や自分自身の成立を可能ならしめる構造の重要性を説いている点でゲーテのこの言葉は画期的なのです。

箕面新キャンパス 1 階エントランスホールにそびえ立つ

巨大な石柱。そこに刻まれた 25 言語によるメッセージは、人類の叡智の結晶であり、未来に伝えるべき外国語学部の理念のエッセンスと言えます。そこに込められた意味と願いを各専攻語代表の先生方に語っていただきました。

8 英語

人文学研究科外国学専攻 教授 畑田美緒

brave new world

【出典】ウィリアム・シェイクスピア 『テンペスト』

【説明】シェイクスピアの『テンペスト』で、初めて他の社会の人間を見たミランダが述べる言葉です。新しい事物や人・異文化に出会った時、恐れや不安から偏見を抱き、それらを回避したり排斥したりするのではなく、「素晴らしい」ものとして敬意を抱き、良い意味での好奇心を持って積極的に関わり受け入れることで、自らの世界をも果てしなく広げていく、そのような態度でありたいとの願いから選んだ言葉です。

9 フランス語

人文学研究科外国学専攻 准教授 岡田友和

Fais de ta vie un rêve,
et d'un rêve, une réalité.

【出典】Antoine de Saint-Exupéry?

【説明】「人生から夢を、そして夢から現実を作りなさい。『星の王子様』の作者で有名なサン＝テグジュペリが遺したとされていますが、実はこの言葉、フランスの物理学者ピエール・キュリーが遺した言葉を後世の人が作り変えたとも言われています。いずれにせよ素敵なお言葉です。きっと星の王子様も気に入るでしょう。学生も教職員もみんな、この箕面キャンパスで夢を見つけ、必ずその夢を実現させてほしい、そんな願いを込めています。

10 スペイン語

人文学研究科外国学専攻 教授 長谷川信弥

Caminante, no hay camino,
se hace camino al andar.

歩み行く者よ、道はまだない。
歩んではじめて道はできるのだ。

【出典】Antonio Machado, “Proverbios y cantares(XXIX)”

【説明】「98 年世代」といわれる近代スペインの文学思想潮流のなかの代表的詩人アントニオ・マチャードの言葉で、人生の足跡を道にたとえた、よく知られた一節です。人がそれぞれ歩んでいく道は、その人が自ら歩いていくものであることを伝えていきます。バルセロナ出身のシンガーソングライターJoan Manuel Serrat（ジュアン マヌエル サラット）によって楽曲化されています。高村光太郎の一節をも思い出します。

11 アラビア語

人文学研究科外国学専攻 准教授 依田純和

بقدر لغات المرء يكش نفعها وتلك له عند الملمات أعوان

【出典】サフィーユッディーン・アル＝ヒッリーリ詩集

【説明】イスラームにとっては聖典クルアーンの言語であるアラビア語こそ最高の言語だが、この詩では他の言語を排除するのではなく、多くの言語を知ることの重要性を表現している。外国語を知るということは単にその言語で意思の疎通をする、ということだけではなく自分の知らない考え方があることを知ることでもあるし、ゲーテが言うように自分の母語を知ることでもある。更に多くの言語を学べば一層世界観が広がるし、それぞれの言語についての理解も深まるものである。

12 ビルマ語

人文学研究科外国学専攻 教授 井上さゆり

ပညာရွှေအိုး လူမိုး

【出典】ビルマ語の格言。

出典は不明ですが、古典詩の一節からとられています。

【説明】「知識という黄金の壺は、誰も盗むことができない」という意味です。15 世紀の僧侶詩人シンマハティラウンタの詩に「知識というのは尊い黄金の壺」という一節があり、ここからきています。現在では格言として広く用いられています。様々な希望を胸に大学にやってきた学生達に、学ぶことの意味やその価値を伝える意図でこの言葉を選びました。

13 タイ語

人文学研究科外国学専攻 准教授 日向伸介

ในน้ำมีปลา ในนามีข้าว

【出典】ラームカムヘーン王碑文

【説明】「水に魚あり、田に稲あり…」13 世紀に歴史をさかのぼるスコータイ王朝の第3 代国王、ラームカムヘーン大王によってつくられたとされる碑文の一節です。タイ人なら誰もが耳にしたことのあるタイ語ですが、ラームカムヘーン大王の存在とこの碑文については、真偽も含めてこれまで様々な議論がなされてきました。タイ語の美しい韻が喚起する理想郷の光景は、100 年後のタイではどのように位置づけられ、語られているのでしょうか。

14 ペルシア語

人文学研究科外国学専攻 教授 竹原 新

دخت تو کربدانش بکیرد به زیر آوری چرخ نیلوفری را

【出典】11世紀の詩人ナーセル・ホスロウの詩の一節

【説明】キャンパス移転当時の学科目代表で文学が専門の藤元優子教授（現・名誉教授）が、レーザーイーバークビーディー特任准教授からの提案を元を選定したものである。日本語に訳すと、「そなたの木が知識の実を結べば 蒼穹を見下ろす高みに至るだろう」（藤元優子訳）となる。その言葉のとおり、知識のもつ力の大きさについて述べられたものである。この大学で学ぶ全ての学生や研究者にとっての基本理念となつてほしい。

15 朝鮮語

人文学研究科外国学専攻 教授 岸田文隆

불휘기픈남근부름매아니밀씨꽃도코여름하느니

【出典】龍飛御天歌

【説明】出典の「龍飛御天歌」は、朝鮮王朝第4代世宗王の代に編纂された叙事詩で、朝鮮の民族文字ハングル：訓民正音で記録された最初の文献である。内容は世宗前6代祖の事跡を述べたもので全125章からなる。石板の言葉は、「根の深い木は風に揺るぐことがないので花が良く実が多い」の意で、何事も事が成就するにはしかるべき理由があることを述べている。朝鮮語を学ぶときも枝葉にとらわれず深い根を養うつもりでとらんてほしい。

16 イタリア語

人文学研究科外国学専攻 教授 菊池正和

... ma fendo i cieli e a l'infinito m'ergo.

【出典】De l'infinito, universe e mondi（日本語訳『無限、宇宙および諸世界について』、清水純一訳、岩波文庫）

【説明】「天を突き抜け無限へと翔ける」

地動説や汎神論を主張して当時の閉鎖的な宇宙論や神学を批判し、思想の自由へと人間精神の視野を開いたジョルダノ・ブルーノの言葉です。この言葉は「わたしは確かな翼を空へと広げる、水晶やガラスの壁も恐れずに」という文句に続きます。学生の皆さんには、現代を取り巻く閉塞感や誰かが決めた限界、先入観などに惑わされず、自分を信じて新たな知を切り開き、自由に飛躍してほしいと思います。

17 デンマーク語

人文学研究科外国学専攻 教授 田邊 欧

Livet forstås baglæns, men må leves forlæns.

人生は、後ろ向きに理解されるものだが、前向きに生きなければならない

【出典】キェルケゴールの日記(1843年)から

【説明】振り返って知ることが出来るのは、過去の経験の集積として幸も不幸も含めた変えることの出来ない人生。しかし本当の人生は現在と未来にあります。そこでは初めての出来事も起こるでしょうし、過去にあったこととよく似た出来事に出くわすこともあるでしょう。それらを自分にとっての真に新しい経験として受けとめ選りとり、勇気をもって決断し、日々を前向きに生きなさい、とキェルケゴールは現代を生きる私たちにも一度きりの人生が豊かとなるよう勇気づけてくれています。

18 ベトナム語

人文学研究科外国学専攻 教授 清水政明

Có công mài sắt, có ngày nên kim.

【出典】『南國方言俗語備録』

（観文堂蔵板、ベトナム・ハノイ、維新甲寅(1914)年）

【説明】「鉄も磨けば針となる」弛まぬ努力を続ければ、必ずや成就する日が来るという意味。長年に亘る外敵や自然環境との闘いの中で培われてきたベトナム民族の忍耐強さ、勤勉さを象徴する諺です。寛大な心と明るい表情に秘められたベトナム民族の堅固な精神は、ここで学ぶ者が規範とすべき精神であり、日々努力を惜しまず勉学に励んでほしいという思いで選びました。書物には20世紀初頭から見え始めますが、永く語り継がれてきた諺です。

19 ポルトガル語

人文学研究科外国学専攻 准教授 坂東照啓

Minha pátria é a língua portuguesa.

【出典】*Livro do Desassossego*, de Bernardo Soares

(Fernando Pessoa)

【説明】石柱に刻まれている言葉は、ポルトガル語がなによりも大切であるという思いを表すポルトガルの国民的詩人フェルナンド・ペソア(1888-1935)によるものです。強い愛国心というものが、ポルトガル国土に向けられたものではなく、ポルトガル語に向けられたものであることを、「私の祖国はポルトガル語という言語なのだ」と表現しています。言語の重みを表すこのペソアの言葉は、私たちに言語習熟の重要性を示し、言語の学びを進める動機を与えてくれるものと考え選びました。

20 フィリピン語

人文学研究科外国学専攻 教授 宮脇聡史

Ang palay ay parisan, habang nagkakalaman ay lalong nagpupugay.

【出典】不明

【説明】「稲に做え、実る間に、いよいよ低くなる」。日本の同様のことわざのように、アジアに広がる稲の文化を背景に、日常を見つめる中から紡ぎ出された言葉なのでしょう。実り豊かで謙虚に生きることの大切さを語っています。真に知恵ある生き方とはいったい何か、稲穂が語りかけてくるかのようです。

21 スウェーデン語

人文学研究科外国学専攻 教授 高橋美恵子

Den som är väldigt stark måste också vara väldigt snäll.

【出典】*Känner du Pippi Långstrump?*

Astrid Lindgren. 1947.

【説明】「強き者は優しくあれ」を意味するこの言葉は、スウェーデンを代表する児童文学作家、アストリッド・リンドグレーンの作品「長くつ下のピッピ」の一節です。世界一力が強く独創性に富む主人公の少女ピッピのあり方に、人としての強さと他者を思いやる優しさの両面を兼ね備えることの大切さ、そして平等で寛容な社会の実現への願いが込められています。スウェーデンについての学びを深める上で心に留めておきたい言葉です。

22 スワヒリ語

人文学研究科外国学専攻 教授 小森淳子

Kila ndege huruka kwa mbawa zake.

【出典】ことわざ

【説明】「どの鳥も自分の翼で飛ぶ」- 鳥に空を飛ぶ翼があるように、人にもみな、自分の人生を切り開き、自分で歩いていく力がある。外国語学部の学生たちも、自分に与えられた能力を生かし、自分の翼で大きく羽ばたいて行って欲しいという願いを込めました。外国語学部のモットー Let language be your wings to the world. とともに贈りたい言葉です。

23 日本語

人文学研究科日本語専攻 准教授 山泉 実

古の奈良の京の八重櫻 今日九重に匂ひぬる哉

【出典】百人一首にも収められている伊勢大輔という女性の歌

【説明】「昔の都である奈良の都の八重桜が、今日はこの新しい都の九重の中で咲きほこっていることですね」（『新日本古典文学大系』）。八重桜が奈良から京都に献上されてきたときに詠まれた歌です。新キャンパスでも外国語学部がこの桜の如く繁栄するようにという願いが込められています…という後付けの理由もありますが、厳しい制限字数に収まる有名な短歌を探した結果、漢字を多くして短くできるこれになりました。

EnaLloid

ENNA
Craftsmanship makes a “*difference*”

24 トルコ語

人文学研究科外国学専攻 准教授 藤家洋昭

Ne mutlu Türk'üm diyene!

【出典】アタチュルク(トルコ共和国初代大統領)名言集

【説明】「確かにその言語で話された、あるいはその言語で書かれたフレーズであるかもしれないが、その言語の母語話者でそのフレーズを知っている者は少数である。」ということがあるかもしれません。しかし、石柱にきざまれたトルコ語のフレーズはそうではありません。トルコ人であれば知らない人はいない国民的フレーズです。なお、日本語訳は「私はトルコ人だ」という者は何と幸せか」となりますが、この訳は大阪外国語大学トルコ語専攻初代教授勝田茂先生のものを使わせていただきました。この場を借りてお礼申し上げます。

25 ハンガリー語

人文学研究科外国学専攻 教授 岡本真理

Szabadság, szerelem! E kettő kell nekem.

【出典】Petőfi Sándor (1823-49)

【説明】「自由、愛!この2つが僕には必要だ」これは、19世紀ハンガリーの国民的詩人ペテーフイの詩の一節である。彼はハプスブルク帝国の支配下にあったハンガリーに生まれ、1848年革命で「起て、ハンガリー人よ!われらは誓う、これ以上奴隷とならないと」と謳い、人々の先頭に立って闘った。26年の短い人生で遺した千を越える詩には、庶民のくらしへの温かいまなざし、自由・平等・民族独立の希求、そして妻への愛が溢れている。

令和3年度 大阪大学 司馬遼太郎記念学術講演会・箕面新キャンパス開学記念国際シンポジウム



主催：大阪大学
 協力：産経新聞社
 後援：司馬遼太郎記念財団
 協賛：大阪大学外国語学部
 咲耶会（大阪大学外国語学部・大阪外国語大学同窓会）



大阪大学総長 西尾章治郎

令和3年11月14日、大阪大学箕面キャンパス大阪外国語大学記念ホールにて、第24回司馬遼太郎記念学術講演会と箕面新キャンパス開学記念国際シンポジウム（主催：大阪大学、協力：産経新聞社、後援：司馬遼太郎記念財団、協賛：大阪大学外国語学部、咲耶会）が開催された。昨年同様、新型コロナウイルス感染対策のためオンライン開催となったが、大阪外国語大学の創立100周年に当たる今年は、4月に開学した新キャンパスでの開催となった。

シンポジウムのテーマが100周年にふさわしい「世界と日本を結ぶ道」であったことから、阪大生によるビブリオバトルも、このテーマに関する司馬作品が対象となった。

司馬先生が大阪外国語大学への入学者に寄せた名文「四海への知的興奮」の小川アナウンサーによる朗読と西尾章治郎総長挨拶の後に始まったビブリオバトルでは、5名の学生による司馬作品の紹介があった。理学研究科博士前期課程2年生の藤谷恭明さんは『手掘り日本史』について、小説の主人公ゆかりの地域に残る独特のイメージなど、日本史に現れてこない資料を掘る（探す）作業が「司馬史観」構築につながる面白さを紹介した。言語文化研究科博士前期課程1年生の増田簡さんは初期の短編集『ベルシャの幻術師』が、膨大な知識を駆使しつつ、史実から想像力を膨らませ、時空を超えたスケールで描く「司馬ワールド」初期の面白さが溢れている点を指摘した。文学研究科博士前期課程1年生の今坂朋彦さんは『最後の将軍』で、徳川慶喜が弁舌豊かに相手を説き伏せた姿を描き出した点を指摘した。文学部2年生の上垣皓太郎さんは『街道をゆく 奈良散歩』について、奈良の道について、膨大な知識と美しい描写を駆使し、シルクロードの規模で描き出す筆致を力説した。外国語学部2年生の原彩乃さんは『街道をゆく モンゴル紀行』について、常に周辺国からの圧迫を受けてきたモンゴルの歴史や、欲のない人々の豊かさについて、好奇心をかき立てる点を力説した。阪大の学生が文系系系を問わず司馬作品を熱く語るの、まさに「愉快」であった。

続いて作家多和田葉子さんのご講演が、作品朗読をはさみながら紹介された。多和田さんは1960年東京生まれ、

早稲田大学を卒業後、チューリッヒ大学大学院博士課程を修了された。1993年に『犬婚入り』で芥川賞、その後、谷崎賞、芸術選奨文部科学大臣賞など多くの賞を受けている。1982年からドイツに住み、日独2カ国語で作品を発表されている。シャミッソー賞やクライスト賞、全米図書賞を受けるなど海外でも評価が高い。講演は産経新聞社編集委員の荻原靖史さんとの対談形式で事前収録された。



多和田葉子氏

多和田さんは子供時代の、地方出身者が集まってできた東京郊外の人口的な言語空間という体験が、自身の言語感覚やリズムの原点にあり、東京やベルリンなど都市の言語を「音」として捉える面白さを述べた。『雪の練習生』や『エクソフォニー 母語の外へ出るたび』などを通して、言葉が人と人をつなげることは、言葉で馴れ合うのではなく、ぶつかりながらも乗り越える可能性を強調した。さらに、原発事故後の少子高齢化が進んだ日本を舞台としたディストピア小説『献灯使』をもとに、故地を離れ、それまでとは全く異なる生活を強いられた人々を描くことを通して得る創作のインスピレーションについても述べ、多和田作品の特徴を知るうえで大変興味深いものであった。

講演会の最後は大水勇咲耶会会長が締めくくった。



続く新キャンパス開学記念国際シンポジウムでは、ベルリンからの中継でご参加の多和田さん、東京からオンライン参加の作家のリービ英雄さん、新キャンパスに来られた俳優サヘル・ローズさん、竹村外国語部長によるパネルディスカッション「コトバからセカイへ―越境する文学」が開催された。リービさんはカリフォルニア生まれ、プリンストン大学で東洋学を学び、そこで日本文学を教授しつつ、万葉集の英訳をされた。1989年に日本に定住されて法政大学で教鞭を執りつつ、日本語で文学作品を発表された。このシンポジウムの直前に最新作『天路』で野間文芸賞を受賞されている。サヘル・ローズさんは子供時代にイランから来日され、現在キャスターや俳優として活躍されるほか、国際人権NGO親善大使を務めておられる。箕面キャンパスの引越しを取材したNHKのドキュメンタリー「小さな世界の犬引越」のナレーションを務められた縁がある。

竹村学部長が新キャンパスを紹介され、その後リービさんが最新作『天路』を用いながら、異なる外国語を話すことで日本語の文法がズレてしまう経験などを話した。言葉を社会的に解釈したり、コミュニケーションの手段として考えるのではなく、言葉そのものを音として物理的に扱う点が、言葉そのものが持つ力を多和田作品と自身の作品に通底していることを挙げた。

サヘルさんは、日本語とペルシア語で詩を朗読し、国籍や言語が異なっても、「伝える思い」が持つ意味を自身の経験とともに紹介された。また文化が異なることでこそ得られる喜びは、異なる言語、言葉そのものが放つことを強調された。さらに、人が第2言語を話すときにその前に使用していた言語の影響を受ける点を指摘した。

こうしたコメントに対し、多和田さんが、リービさんの『天路』を引用しつつ、多言語に込められた記憶が時空を超えてつながる面白さや、第2言語を話すときにそうしたクセが残ることはむしろ誇るべきであると述べた。学部長のスワヒリ語の例示とともに議論が白熱し、表現する言語の選択は、個人が背負う歴史や偶然によって異なることが述べられた。

最後に日本の外国語教育への期待について、多和田さんは、外国語習得は他人の言葉を借りるという行為であり、自他の境界を超えることが必要だと述べた。リービさんは、文法を学ぶことよりも、「なぜこの言語を学ぼうとするのか」「自分がこの言語を学ぶとどうなるのか」というモチベーションが重要であるとした。サヘルさんは新しい言語を「試食」するように学んで未知の世界を学ぶ努力は決して無駄にならないこと、異なる視点を学べることを強調した。

シンポジウムの締めくくりは、三成賢次大阪大学理事の挨拶で終わり、とても刺激に富む、素晴らしい企画であった。

（文責：山根 聡）（写真提供：大阪大学共創推進部社会連携課）

「令和4年度司馬遼太郎記念学術講演会」のお知らせ

12月10日(土)、大阪大学箕面キャンパス1階大講義室にて、対面とオンライン併用のハイブリッド形式で開催いたします。
 対象：学生及び市民

大阪大学司馬遼太郎記念学術講演会は、今年も、新型コロナウイルス感染防止のため、「箕面キャンパス1階大講義室」にて、対面とオンライン併用での開催となります。詳細は、大阪大学または咲耶会のホームページをご覧ください。（10月以降公開予定）

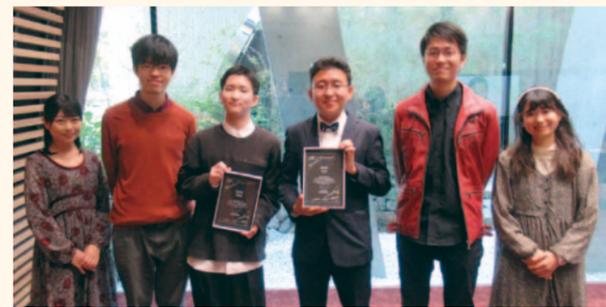
講演者：今村翔吾 氏（作家）
 2022年1月、「塞王の楯」で第166回直木賞を受賞
 箕面市で閉店寸前だった「きのしたブックセンター」を復活した経営者としても知られる。

第一部 司馬遼太郎記念学術講演会

テーマ：「世界と日本を結ぶ道」

朗読 司馬作品から
 ビブリオバトル

大阪大学の学生による、司馬作品の紹介と質疑応答



講演 「コトバとコトバの間の闘(しきい)、狭間、そして跳躍」
 作家 多和田葉子

第二部 箕面新キャンパス開学記念国際シンポジウム

テーマ：「これからの世界と日本を結ぶ道」

■箕面新キャンパス紹介

■パネルディスカッション

テーマ：「コトバからセカイへ―越境する文学」

パネリスト：

多和田葉子(作家)／リービ英雄(作家)／サヘル・ローズ(俳優)

ファシリテーター：竹村景子(大阪大学外国語学部長)

総合司会：小川真由(アナウンサー、大阪外国語大学国際文化学科学科日本語専攻卒業)

コロナウイルス感染拡大で翻弄された学生生活 ニューノーマルへ



外国語学部ドイツ語専攻 4年

鳥越 綾

今まで学部生の交換留学スケジュールは、3年後期から4年前期にかけて留学、帰国後に就職活動を行い、5年で卒業が主流であった。しかしコロナ感染拡大の影響を受けた私たちの代は、この予定通りに進めることができなくなった。

2020年4月からは全ての授業がオンラインになり、部活動やサークル活動は大幅に制限された。キャンパス移転により、活動場所の確保ができず、外国語学部の運動部は2021年に廃部がほぼ決まっていたため、所属していた外国語学部合気道部の活動をしっかり行いたいところではあったが叶わなかった。その後6月頃に正式に留学中止の通達が来た。ここから大きく予定が狂うことになる。もし4年での卒業・就職を希望するならば、この時点から就職活動をする必要がある。流れで就職活動を始めたが、入学した時から持っていた留学への憧れを捨てることができず、就職活動に本気で取り組むことができなかつた。大学院進学も検討していたところ、2021年6月に部分的な留学再開の通達があり、急いで準備を整え、2021年9月にNRW州のボーフム大学で留学を開始した。コロナ前、同期の約半数である20名ほどが交換留学を希望していたが、実際に交換留学を行った学生は8名程度であった。一年が経ち、就職や休学、大学院進学と新しい決定を下した学生が多かった。

ドイツでの留学開始後半年間は、主にオンラインで授業を受けることになった。既に一年間オンライン授業を経験していたため、支障はなかったが、友人やタンデムパートナーを作るのに苦労した。また必然的に家で過ごす時間が長くなるため、シェアハウスの同居人と揉め、日照時間の少なさに精神的にもつらい思いをした。留学と並行し、ドイツからオンラインで就職活動を行った。外国語学部の就職サポートや昨年の就職活動の経験のおかげで、4月上旬には希望していた企業から内定を

頂くことができた。就職活動を留学中にせざるを得なくなったのはコロナのせいであるのに、留学中に就職活動を日本にいる学生と同じ待遇でできるようになったのもコロナがきっかけになっているのは皮肉なことである。今学期からは全て対面授業になり、他の留学生との交流や日本語専攻の授業のアシスタントを行うなど充実した毎日を過ごしている。また図書館や食堂もコロナ前と同じように使えるようになり、最近は卒論のテーマであるドイツの移民・難民受け入れに関する文献の収集や精読などをして日々を過ごしている。

2月末に始まったロシアのウクライナ侵攻は直接的にはドイツへ影響をもたらさなかったが、物価の上昇という形で現れた。またポーランドを経由して多くの難民が

ドイツにもやってきた。ここで非常に興味深かったのは、ウクライナ難民の受け入れを表明した家庭に元シリア難民が含まれていたことである。つまり7年ほどでドイツ語を学び、自分の力で人を滞在させるほどお金を稼ぐことができ、同じ境遇の他者を助けようしているということである。これは私にとって非常に印象に残るニュースであった。日本では、ウクライナ難民を除く多くの難民が認定を受けることができず、かなり制限がかけられた生活をしているが、正しい支援があれば、数年で再び職につき、その国で他人のために行動できるようになるのではないだろうか。日本に来ている難民も適切に審査し、認定することで、より良い共生ができるのではと考えさせられた。

私はコロナ感染拡大やロシアのウクライナ侵攻等、まったく予想していなかったことを目の当たりにし、それらの影響をもろに受けることになった世代である。「今できることが当たり前ではない」ということを胸に刻み、情報を日々更新し、今までの枠組みに囚われず、自分の生き方・考えを決められるように精進したい。また大学での留学が叶わず卒業した方も、自由な往来が再びできるようになった時には、ビジネスや社会人・大学院留学、旅行など様々な形で各々が学んだ言語を使い、目的の地へ足を運べることを切に願っている。



変わらない日常



高平 央 (仮 R44)

「冷戦期もそうだったようにこの町に砲弾が降ることはない」とソ連時代を過ごした人達は皆私に笑いながら答えました。Zの旗や深夜の飛行機音が少し増え、映画の世界で聞くような音が時折聞こえるようになりましたが、今年も夏の花火が上がりました。「NARUTOの

イタチと長門はどっちが強い?」と去年私に聞いてきた10歳の男の子は、同じ顔と声で「ロシア派?ウクライナ派?」と今年私に授業中尋ねました。

私は2019年からロシアの地方にある100万人都市のペルミ市で暮らしています。大学院に通いつつ日本語教師として働いていて、老若男女問わず毎日ロシア人と話しています。ロシア人は笑わないと言われますが、それは親密でない人に対してであり、初対面でもしばらく話せば笑いますしお茶を飲まないかと誘われます。それはコロナ禍でも侵攻前後でも変わりません。

コロナ禍に導入されたりリモート授業(ワーク)は数か月しか続かず、マスクなしで通常授業をしていました。もちろん全てのクラスで罹患者が出たので結局休校になりました。罹後マスクをせずに二度目の感染を経験し呼吸しづらいと話しながらノーマスクで仕事をする教員を見てると、この国は強い人だけが生き残ってきたのだなと強く感じました。



留学生活



コロナ前 友人たちと

侵攻以降ここでも公の場での政権批判はタブーになり、人間関係悪化の原因になっています。廊下での雑談は人が来たら別の話に切り替えたり、外で歩きながら話すことが増えました。「ウクライナ人を信用するな」、「この国を恥じている。他国で暮らしたい」と性別世代問わずよく聞きます。要職者(すみません、具体的な役職は言えません)の何人かに戦争支持派が8割以上いると聞いています。また、反対派ですが「戦争に反対」と「ウクライナ東部はロシア領土である」の二つ意見を同時に持っている人が大半ですので、日本語のニュースで「反対派は少ないけどいるんだ、よかった」と考えてはいけないうように思います。ロシア政府に「保護」されたウクライナ人はロシアに住めて幸せであり、「私達を(インフレから)助けられないのに、なぜ敵国民を助けるのか」というネット上の批判も多いです。



Zの旗

どこまで書きましたが、政治の話をしなければここはただの物価上昇が起きている国です。砂糖が買えないと話題になりましたが、問題なく買えますしファーストフード店も営業を続けています。食料品の値段は上がりましたが、仕事のある人は少し支出を抑えるだけで十分です。ただし、外貨をルーブルに替えて生活する外国人や年金受給者の生活は厳しくなりました。中国人達から「中国語を習いたいロシア人の知り合いはいないか」とのメールが4月頭までよく来ていました。また、年金生活者でありながら学校で清掃の仕事をしている女性からも「ソ連崩壊ほどではないが生活が辛い」と聞いています。現在多くのロシア国民がこの戦争は冬には終わると考えていますが、どうしてもそう思えません。



「或る列車」完成時に車両工場にて

2012年、Uターン就職でJR九州に入社し、気づけば丸10年が過ぎていました。キャリアレポートといえるほどのものではありませんが、大学生活でお世話になった方々への近況報告を兼ねて、1ページをお借りします。

採用枠に関わらず、入社後1～2年は原則全員が現場の仕事（駅員や乗務員など）を経験します。これが朝から翌朝までの泊まり勤務で、体が慣れきるまでは本当に大変。車掌時代は、翌朝退勤してその日の夕方から再び乗務なんてこともありました。毎日、列車が早朝から深夜まで当たり前のように走るには、この勤務サイクルを鉄道に関わる何百人、何千人が続けていかなければならない。その中にいて、働くことの「重さ」や健康管理の大切さを痛切に感じました。

その後は、非現業で「鉄道で稼ぐ」ためのさまざまな施策に取り組む部署へ配属となりました。特に思い出深い仕事のひとつは、「或る列車」という観光列車のデビューに携わったことです。列車内でコース料理を提供するため、九州各地の食材を集めるべく農家さんと交渉したり、オリジナルの器やグラスを作ったり、乗務員と一緒にオペレーションを考えたり。当時は目の前のことに必死でしたが、相当貴重な経験をさせてもらえたと思います。

現在担当しているのは、列車（主に新幹線）を使った物流事業です。貨物列車とは違い、営業列車（お客さまが乗っている列車）の空きスペースに荷物を積んで、駅から駅へ、従来のトラック輸送では難しい「遠方への

「地域を元気に！九州で駆け回っています」

松藤 泰代 (阪大E1)

即日輸送」を行っています。書類や医療機器などの急ぎのお荷物はもちろんのこと、鮮度が命の魚介類や、朝採れたての野菜、焼きたてのパンや日持ちしないスイーツなど、当日中に届くからこそ良さが際立つものの流通が新しい価値の創造に繋がればという思いで、荷主開拓やPRに取り組んでいる最中です。とはいえ、これまで旅客専門だった列車で荷物を扱うには隠れたハードルが多々あり、現段階ではまだまだ改善の余地がある事業です。そのうち、小売店や飲食店に「新幹線ブランド」の食材や地域の逸品が並び、メジャーになればと思っています。



列車物流事業のPRイベントでの一枚

と、ここまで大学4年間で学んだ英語の「え」の字も出ておらず恐縮ですが、さまざまな角度から地域を元気にする方法を突き詰めて考える、まさに「Live Locally」な仕事をしています。コロナによって色んな「当たり前」がなくなり、公共交通機関にとっては苦難の3年目ですが、予測できない変化にもすぐに対応できる企業・人材でないと、この先はもっと厳しい。広い知見と視野を持っておかなければと痛感する日々です。一方、現在4歳と2歳の子どもがおり、仕事が終わってもあいにく自由な時間はほぼ見当たらない状況ですが、毎日本当に賑やかな日々を過ごしています。ありがたいことに計2年半ほどしっかり休職の期間をいただきワーキングマザーとなった今、よく聞く「仕事と家庭の両立」に悩まされながらも、どちらにも面白さを感じています。

プロフィール



2012年 大阪大学外国語学部 英語専攻卒業
2012年 九州旅客鉄道株式会社 (JR九州) 入社
2014年～ 鉄道事業本部営業部で、観光列車や周遊きっぷ、全国規模の送客キャンペーン、震災復興企画など、鉄道旅と沿線地域の魅力を訴求するさまざまな企画に携わる。
2児の母

おいしい笑顔で世界をつなぐ 学生時代の失敗から生まれた仕事

株式会社フードピクト 代表取締役 菊池 信孝 (開発・環境大57)



フードピクト表示事例

「日本の料理を食べてみたかった...」

将来は国際協力の仕事をしようと外国語学部に入社した私は、大学1年生の春からJICAのボランティアに登録します。ある日、国際交流のプログラムでサウジアラビアから初めて来日したイスラム教徒のアテンドを担当した時に、彼が発したこのひと言が私のキャリアの始まりでした。

日本らしい食体験をリクエストされた私は、イスラム教で禁忌とされる豚やアルコールを含まない寿司や天ぷらのお店を案内しました。ところが彼はどこに行っても豚やアルコールが入っていないか自分で確かめられないから不安で食べられない」と言います。しばらく一緒にお店探しを続けましたが、結局この日はマクドナルドでフィッシュバーガーを食べてお別れをします。

この経験のあと、私はキャンパスにいる留学生や近隣に住む外国人にヒアリングを始めます。すると「せっかく日本人と友達になれたのに一緒に食事に行けない」という声や、「食堂には食べられる料理がないので昼休みも自炊をしないといけない」という声など、多様な食文化や習慣のある人が日本での食生活に不自由を感じていることに気がつきました。

何かできないかと友人に相談した結果、大学2年生の時に夏まつり実行委員会に参加し、そのなかで仲間を集めてこの課題に挑戦するチームをつくります。そして飲食模擬店で提供される料理に含まれる肉の種類とアルコールの有無を、日本語・英語・中国語・韓国語で表示する共通のポスターをつくり、全店舗で掲示する実験をしました。

この実験には「外国語学部らしい素晴らしい取り組み」という評価の声を多くいただきましたが、「取り組みは嬉しいけれど私には4言語だと理解できない」という留学生の声が混じっていました。ならばと、同じ年の間谷祭では多言語ではなくピクトグラム（絵文字）を使って同様の取り組みに挑戦し、言葉の壁を超えた食材表示のピクトグラム「フードピクト」が誕生します。

卒業後の2009年には世界共通のピクトグラムである非常口と同様に、ISO（国際標準化機構）のガイドラインに準拠し、世界1,500名の調査協力を得てフードピクトを国際規格にリニューアルします。その翌年、日本で開催されたAPECに採用され、その後の訪日外国人の増加も追い風となり、いまでは成田・羽田・関西の国際空港をはじめ、全国100社1,600店を超えるホテルや飲食店で利用され、すべての人のおいしい笑顔に寄り添っています。

意味や情報を絵で伝えるピクトグラムは、1964年の東京五輪で世界で初めて体系的に整備され、2021年の東京五輪では開会式のパフォーマンスで世界の注目を集めた、日本生まれのコミュニケーションツールです。一見シンプルなデザインですが、言語や文化の違いを超えた世界共通のピクトグラムをつくるためには、さまざまな言語や文化に対する深い理解が必要です。

私が学生だった頃は、外国語学部を卒業して食やデザインの仕事に携わるとは想像すらしていませんでした。しかし振り返ってみると、外国語学部で言語を通して多様な文化と異文化コミュニケーションを学んだことが、新しい世界の共通言語をつくり広げていく現在の仕事にこの上なく役立っていると感じています。

プロフィール



2009年に開発環境専攻（アラビア語）を卒業。食とクリエイティブで共生社会をつくる会社とNPOのコレクティブ「Whose Foods Group」の代表 / Social Foodieとして、食の課題解決と価値創造に取り組む。また東京藝術大学 Diversity on the Art Project にも在籍し、社会課題を解決するアートの可能性(文化的処方)を探索している。
2010年に世界経済フォーラム Global Shapers 選出、2015年に日経ソーシャルイノベーション大賞、2020年に日経優秀製品サービス賞を受賞。

生涯現役のワールド・トラベラー ミュージカル初出演に挑戦



人生100年時代、85歳の私は、山で言えば8合目を過ぎた辺りか？実は70歳まで年のことは気にしなかったが、以降は意識し終活に励むようになった。先ずクウェートとインドネシアに約9年駐在した商社マン時代から好きな旅は、リタイア後も続け世界制覇が最重要になった。世界の全ての国を巡り、275カ国・地域(南極など)を訪れた。1995年に北極点に到達した時は、旅友達になった米国人から「お前こそ本物のワールド・トラベラーだ」と称賛してくれた。

半世紀にも及ぶ様々な異国体験を基に7作の著書も刊行、売れない本ばかりだが、次に13年前より千葉県我孫子市の自宅マンション内で世界の人形館という個人博物館を無料公開のほか、都内や千葉県内で無報酬の講演を引き受け、義金や地球儀なども度々寄付してきた。更に留学生に日本語を教えるなど国際交流に注力し、社会貢献活動に尽力中。お陰様で紺綬褒章を受章した。3年前に妻の他界後も終活に励み、毎日が多忙を極める。そんな折柄コロナ禍の自粛で鬱陶しかった昨年3月。知人の都内の女性歌手より、ミュージカル出演を打診された。



半世紀にも及ぶ様々な異国体験を基に7作の著書も刊行、売れない本ばかりだが、次に13年前より千葉県我孫子市の自宅マンション内で世界の人形館という個人博物館を無料公開のほか、都内や千葉県内で無報酬の講演を引き受け、義金や地球儀なども度々寄付してきた。更に留学生に日本語を教えるなど国際交流に注力し、社会貢献活動に尽力中。お陰様で紺綬褒章を受章した。3年前に妻の他界後も終活に励み、毎日が多忙を極める。そんな折柄コロナ禍の自粛で鬱陶しかった昨年3月。知人の都内の女性歌手より、ミュージカル出演を打診された。

半世紀にも及ぶ様々な異国体験を基に7作の著書も刊行、売れない本ばかりだが、次に13年前より千葉県我孫子市の自宅マンション内で世界の人形館という個人博物館を無料公開のほか、都内や千葉県内で無報酬の講演を引き受け、義金や地球儀なども度々寄付してきた。更に留学生に日本語を教えるなど国際交流に注力し、社会貢献活動に尽力中。お陰様で紺綬褒章を受章した。3年前に妻の他界後も終活に励み、毎日が多忙を極める。そんな折柄コロナ禍の自粛で鬱陶しかった昨年3月。知人の都内の女性歌手より、ミュージカル出演を打診された。



生来好奇心が強く直ぐに飛びつくはずが、初体験につき珍しく固辞した。当時はNHK大河ドラマ『青天を衝け』で時の人になり、日本の資本主義の父と言われる渋沢栄一を演じて欲しいとの由。しかも外国人タレントを含め100人の出演者の中で主役として、晩年の渋沢翁をお願いしたいと。同じ経済人として大先輩の偉人を演じるのは光栄だが、芝居が素人には無謀な配役。即決主義の

筆者に似合わず躊躇した。しかし、日本人移民排斥など日米関係が緊迫した1927年、渋沢栄一と米国人宣教師シドニー・ギューリックが実現した青い目の人形を中心に平和を願う日米交流がストーリーの舞台と知った。

一方、筆者も約2000体の世界の民俗人形を所蔵し、人形には浅からぬ縁がある。結局国際親善の一助にと思出演を引き受けたが、公演に至るまでが大変だった。当時84歳の後期高齢者がセリフを覚えるのは苛酷。しかも、重要な主役とあって、度々の長いセリフには閉口した。だが、刺激的な若返りになると前向きに挑戦し、約2カ月の猛練習に励んだ。

出演者の大半がプロやセミプロに交じってアマの筆者が追いつくのは至難と思ひ、都内で行われた週に数度の練習に加え、自宅ではネットで渋沢栄一本人の肉声を聴きながら練習を重ねた。

新型コロナが鎮静化した昨年11月20日、都内の王子にある「北とびあさくらホール」で公演され、『渋沢栄一と青い目の人形』という2時間のミュージカルに出演した。1300人収容の会場に、コロナ禍にも関わらず約600人もの入場者があるほど盛況。ミュージカルの幕が開いた途端、広い舞台の中央に1人で立ち、最初にセリフを切り出したのが何と筆者。その後は4度の出番があった。最後は100人の出演者全員が一堂に舞台上に、フィナーレを華やかに飾った。主役を務めたお陰で舞台の最前列の中央にいたのは言うまでもない。生涯現役の精神で何事にも挑戦したい気持ちにさせたミュージカル初出演だった。

高 康治 (大IP10)



略歴

1937年4月 大阪市生まれ。
1962年3月 大阪外国語大学(現大阪大学外国語学部)卒業後 三井物産入社。商社マンとして主に外国で働き、海外駐在(クウェートとインドネシア約9年)&出張多数。今まで全ての国、南極や北極点などの地域を含め、合計275カ国を訪問済み。
2009年より世界の人形館オーナーとして、余生を社会貢献活動、特にグローバル化推進に尽力。
著書『紙幣と旅する』PHP、『世界を動かす少数民族』幻冬舎、『ワールド・トラベラーだけが知るイスラムの世界』新潮社など7冊。2021年3月&9月紺綬褒章を受章。

「新生」英語専攻の今

早瀬尚子

大阪大学人文学研究科言語文化学専攻 言語認知科学講座 教授
外国語学部 英語専攻 教授

コロナ禍で日本全体が大きく揺れている間に、旧箕面キャンパスとも別れを告げ、箕面船場の新キャンパス移転となりました。同時に、英語専攻も大きくスタッフが入れ替わりました。長年英語専攻ならびに外国語学部の発展のためにご尽力いただいた岡田新先生、貴志雅之先生、杉田米行先生が2020年3月をもってご退職されました。一つの時代が終わった感もありますが、後任にはフレッシュなメンバーとして岡本太助先生(アメリカ演劇)、藤山一樹先生(イギリス政治)、伊藤孝治先生(アメリカ政治経済)をお迎えし、新たな英語専攻の時代に入りました。特に岡本先生、伊藤先生は、かつての箕面旧キャンパスで学ばれた卒業生でもあります。総勢10名のスタッフの平均年齢も大きく若返り、気持ちを新たに一同スタートしています。

英語専攻は一学年60名。明るくきれいなキャンパスで、コロナ禍にあっても対面授業主体の授業を、他学部以上に全面的に行っています。オンラインよりずっと授業に集中できるし友人とも対話しながら学べるメリットも享受できると、楽しく過ごせているようです。

コロナ禍で残念なことに交換留学がキャンセルになったり、可能であっても日本にそのままオンライン授業になったりと、大変な不便を強いられていました。しかし現在は渡航制限も段階的に緩和され、留学志望者の数もぐっと増えています。実際に留学できた人たちから届けられる「行って良かった!」「充実していた!」という生の声を聴いて、やはり4年次でも改めて留学に再挑戦する人も多く、バイタリティは素晴らしいものです。

また英語専攻が主体の行事として、兼修語学のエッセイ&スピーチコンテスト、また全学的イベントとして「理系大学院生プレゼンテーションコンテスト」をマルチリンガル・エキスパート養成プログラムと共同で行っております。学部全体、大学全体への貢献ができるよう、これからも頑張りたいと思います。



日本語専攻の今

筒井佐代

大阪大学人文学研究科日本語専攻 教授(副専攻長)
外国語学部 日本語専攻 教授

新しいキャンパスに引っ越してきて、1年以上が過ぎました。今年度は多くの授業が対面授業に戻り、キャンパスも学生で賑わっています。また、今年度から、大学院言語文化研究科と文学研究科が統合して、新しく人文学研究科が設立され、言語文化研究科日本語・日本文化専攻は、人文学研究科日本語専攻応用日本学コースとなりました。旧文学研究科の先生方で構成されている基盤日本学コースと合わせて、日本語専攻は日本最大の日本研究の大学院としてスタートしたところです。

2020年からのコロナ禍では、学部でも大学院でも来日できない留学生が少なからずいました。特に新入生の人たちは、大阪大学入学の実感も湧かないままオンライン授業が始まってしまって、疎外感を感じていたのではないかと思います。よく学習意欲を失うことなく熱心に授業を受けてくれたと思います。また、例年は休学して海外に日本語を教えに行く日本人学生も多いのですが、コロナ禍で国際交流基金のインターンなど、様々なプログラムが実施を取りやめ、日本語教育の現場を体験する機会も失われてしまいました。それでも、ドイツのデュッセルドルフ大学やタイのチュラーロンコーン大学、チェンマイ大学などは、オンラインで授業に参加する機会を設けてくださり、オンラインでのインターンという貴重な体験をさせていただくことができました。昨年の秋からは海外の日本語教育機関への渡航も徐々に可能になり、現場での教育経験を積む機会が得られるようになりました。



日本語共同研究室で学ぶ学生たち

今年度の対面授業では、コロナ前の和気満々とした授業の雰囲気に戻ってきましたが、以前と違うのは、学生さんが教室でパソコンを開いて授業を受けている姿です。紙のプリントを配ることもなくなり、資料はPDFなどの形で配布するようになりました。時代はコロナによって急速に変化していますが、コロナ禍で薄れてしまっていた人と人との関わりを取り戻し、お互いに切磋琢磨しながら学んでもらえたらと願っています。



授業中のグループワークの様子

新たなる夏まつりの第一歩

大阪大学夏まつり実行委員会 委員長
トルコ語専攻3年 **市村竜太郎**

初めまして。第41回大阪大学夏まつり実行委員長の市村竜太郎です。まずは、今年度の「夏まつり」が7月9日に無事に開催できましたことについて、皆様のご協力に心より感謝いたします。



前回の夏まつりの開催は2019年度でしたので、今回は3年ぶりの開催ですね。第41回目の夏まつりは大きな節目となったことでしょう。なにせ箕面キャンパスが船場東地区に移転し、さらに新型コロナウイルス感染拡大が重なってしまったため開催形態や地域との繋がりが失われてしまったのです。また、夏まつり実行委員会自体も活動休止状態にあったため部員数は激減し、例年の半数以下となってしまいました。中でも最も大きな問題が、過去の「大阪大学夏まつり」を経験した者が部員にいない点です。実を言うと、委員長の私も夏まつりを経験したことがありません。そんな状況ですので運営がスムーズに進むはずもなく、立て続けに問題が発生していました。特に開催1ヶ月前からは本当に忙しく、学業や就職活動、アルバイトなどで時間が全く足りないため寝る間も惜しんで活動しました。だからこそ、夏まつり本番が終日晴天に恵まれ、大きな事故、トラブルもなく無事に開催出来たことが本当にうれしくて、終わったあとに仲間たちと涙を流しました。来場者や関係者の方々からの「楽しかった!」「来年も行きたい!」といった声を聞いたとき、私たちの努力の全てが報われたと、そう感じたのです。

改めて、第41回大阪大学夏まつりの開催にあたって協賛、協力頂きました企業、団体などの方々、当日ご来場いただいた方々に当委員会を代表し、この場をお借りして心より感謝申し上げます。今後ともどうかよろしくお祈りいたします。

伝統の語劇祭

2022年度語劇祭実行委員会委員長
ヒンディー語専攻3年 **小田はる乃**

今年度の語劇祭実行委員長を務めます、ヒンディー語専攻3年生の小田はる乃です。

大阪大学外国語学部には、数億の人口を抱える言語から神秘的で独自性に溢れる言語まで、世界各地から25言語が集まっており、この整った環境の下、学生たちはそれぞれの言語に特化すべく日々学んでいます。世界には何千もの言語が存在しますが、どの言語も等しく美しいものです。それぞれの言語が独自の文字や体系、歴史を持っていてなお、他の言語と緩やかにつながりあって世界を包み込んでいます。私たちは、そのような言語の美しさや素晴らしさを、また、言語が織りなす様々な文化や各地域の魅力を、語劇祭を通して皆様にお伝えしたく思っております。

語劇祭は、大阪大学外国語学部で代々続いてきた伝統ある行事です。前身である大阪外国語大学時代から先輩方の熱意と歴史を受け継いで、今年度も無事開催の運びとなりました。日頃より厚いご支援を賜りまして、心より感謝申し上げます。

長きにわたって存続してきたこの語劇祭は、今年度参加する学生のみなさんはもちろんのこと、ここまでバトンをつないでくださった先輩方や咲耶会の皆様、学生支援にご尽力くださる教授方や事務の皆様の方の力の結晶であり、外国語学部の団結のシンボルでもあります。今年も古き良き伝統を守り次世代へつなぐとともに、学生が主体性と積極性を遺憾なく発揮できる舞台にすべく、委員共ども奮闘してまいります。

現在、11月26日(土)・27日(日)の本番に向けて各専攻が工夫を凝らして劇をつくり、言語力を磨いております。例年どの言語の劇も、その素晴らしさたるや圧巻です。様々な言語が一同に会し、色々な文化やストーリーを楽しんでいただけるこの語劇祭は、唯一無二の行事であり、まるで世界中を旅しているかのように感じていただけたと思います。本番まで、各々精進してまいりますので、ぜひ箕面キャンパスまで足を運んでくださると幸いです。

皆様のご来場を、心よりお待ちしております。



2021年度スワヒリ語劇

大学院人文学研究科の誕生

大阪大学人文学研究科外国語専攻教授
専攻長 **山根 聡**

令和4年4月1日、言語文化研究科は、文学研究科と統合して新たに人文学研究科となりました。大阪大学における人文学知の新たな展開を期して、あしかけ5年にわたる議論の末、令和3年4月に文科省に設置申請を提出、秋に晴れて設置審で認められました。申請が認められた令和3年は奇しくも、大阪大学が創立90周年、大阪外国語大学が創立100周年を迎えた年であり、同時に、言語社会専攻と日本語・日本文化専攻のキャンパスがOUグローバル・キャンパスとして箕面船場の地に移転した記念すべき年でありました。

新たに発足した人文学研究科内には、外国語専攻、日本学専攻、人文学専攻、言語文化専攻、芸術学専攻の5専攻が設置され、旧言語文化研究科の言語文化専攻は言語文化専攻へ、旧大阪外国語大学の大学院であった言語社会専攻は外国語専攻と名前を変えたほか、日本語・日本文化専攻が日本学専攻内の応用日本学コースへと移行しました。

日本学専攻はわが国最大規模の日本語・日本文化研究の拠点としてさらなる成長を目指すこととなります。人文学研究科は大阪大学の人文系の多くの教員と学生を抱えることとなりますが、その最大の特徴は、教員を研究対象地域や分野によってバーチャルに配置する人文学林をつくり、学生のみならず、教員の交流を活性化させ、研究者の視野をさらに広げようとしている点にあります。これまでの知の集積をもとに、次の一世紀を目指していきます。

バスと思い出の記録 再履バス同好会

阪大E11 **夏目琢磨**
人文学研究科言語文化専攻博士課程前期1年

2021年3月24日21時35分、旧箕面キャンパスを発つ最後のバスがそっと扉を閉めました。阪大外国語学部前発、千里中央行き。見送りにきた学生が1人、乗客は私を含めて2人でした。かつて夜間部の学生を乗せたという9時半のバスは、バス停のテントの下で手を振る1人を残して、空っぽになったキャンパスをひっそりと後にしました。

大学へ向かうバスは多くの人の思い出を運んでいます。それを記録するのが私たちの活動です。

大阪大学の学舎間を結ぶ「再履バス」やキャンパスに乗り入れるバスを中心に記録や取材を行っています。「今」を写真に収めるだけでなく書庫に収められた資料を紐解き、大学のバスの歴史を研究しています。また再履バスをより便利にする混雑状況配信アプリを開発したり、先のキャンパス移転では大学と連携して新ダイヤを提案したりと未来へ向けての活動もしています。

これからもバスが皆の青春の1ページであり続けますように!



◆告知板◆

◆受勲者のご披露

- 令和3年秋の叙勲 瑞宝中綬章
武田佐知子氏 (大阪大学名誉教授)
細谷昌志氏 (大阪大学名誉教授) (大P15)
松下唯夫氏 (大阪外国語大学名誉教授)
- 令和4年春の叙勲 瑞宝中綬章
溝上富夫氏 (大阪外国語大学名誉教授) (大IP13)
- 「パキスタンの星」勲章
松村耕光氏 (大阪大学名誉教授) (大IP28/院IP12)
パキスタンの国語であるウルドゥー語の教育と研究への長年の貢献により、パキスタン大統領から「パキスタンの星」勲章を授与された。

「エントランスホールにピアノが来た!」

新キャンパスでの学生生活にも大分馴染んだ昨年12月28日、一階エントランスホール奥に、古いアップライトのピアノが運び込まれました。今ではすっかり学生生活のオアシスとして、音楽好きの学生さんの憩いの場となっています。夏休み前、たまたま弾きにいられていたハンガリー語専攻の岡本真理先生から、ピアノの由来をお伺いできました。

すてきなエントランスホールが単に通路となってもったいない。学生・教職員そして誰もが交流できるスペースにと考え、街ピアノを思い立ったとのこと。旧箕面間谷キャンパスにあった4台のうち、比較的状態のよい1台を調律して設置していただいたとのこと。咲耶会事務局のすぐ側で、事務局スタッフもランチタイムのカジュアルなコンサートを楽しています。

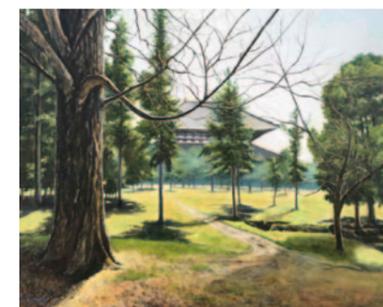
写真はピアノが使われる方へのメッセージです。

新キャンパスに卒業生寄贈の絵画が飾られています

箕面新キャンパス開学のお祝いにと、画家の中島裕司氏(デンマーク語1976年卒)から作品の寄贈がありました。東大寺大仏殿を描いた「大樹の下で」という、100号の大作です。1階エントランスホールのピアノコーナーの壁に飾られていますのでぜひご覧ください。

作者の中島氏については、学生時代の思い出をつづられた「大阪外語美術部の思い出」という一文をご寄稿いただき、「つどい」欄に掲載しています。

この作品以外にも、新キャンパスのあちこちに、卒業生から寄贈された数多くのアート作品が展示されています。



◆令和3年度退職教員

- 宮本マラシー 言語文化研究科 教授 (タイ語)
- 藤元優子 言語文化研究科 教授 (ペルシア語)
- 大内 一 言語文化研究科 教授 (スペイン語)
- 川北恭子 言語文化研究科 教授 (フランス語)
- サルダーニャ カリーナ 言語文化研究科 助教 (ポルトガル語)
- 郭 修静 言語文化研究科 特任講師 (常勤) (中国語)
- Dwi Puspitorini 言語文化研究科 特任准教授 (常勤) (インドネシア語)
- Samar Edgar Calabia 言語文化研究科 特任講師 (常勤) (フィリピン語)
- Garcia Naranjo Josefa 言語文化研究科 特任准教授 (常勤) (スペイン語)



集い歌う楽しさを、是非ご一緒に!

栗生 昇 (大 K33)

我々大阪外国語大学グリーンクラブ OB 合唱団は、今年で創部 96 周年を迎えております。現在大阪では 15 名の現役団員が毎週土曜ないし日曜に集まり男声合唱を楽しんでおります。東京、名古屋でも独立した運営で OB 合唱団が活動しておりますが、相互に協力しながら演奏会などの機会を通じて活動を共にしております。コロナ禍で永らくその制約に苦しみましたが、今年 5 月、東京の浜離宮朝日ホールで 95 周年記念演奏会が開催され、大阪、名古屋からも参加し約 30 名がステージに立ちました。大阪での 95 周年演奏会はコロナ禍の影響で断念致しましたが、6 月には箕面市合唱祭へ参加、名古屋からの参加も得て、シューベルトの名曲「菩提樹」など 2 曲のドイツ古典歌曲を披露致しました。

写真は、演奏後に会場の箕面市メイプルホール横の公園で撮った 1 枚です。雲一つない青い空、鮮やかな樹々の緑、まるで演奏後の我々のところをそのまま映し出しているかの様です。

我々 OB 合唱団では、在学中にグリーンクラブに在籍されていない方々の入団も歓迎しております。是非、皆で声を出して歌う楽しさ、ハーモニーを創り出す愉しさを我々と一緒に味わいましょう。思い立ったが吉日、関心を持たれた方は、下記へご一報ください。

- 大阪：
栗生 昇 (大 K33、e-mail: kurio1122@ezweb.ne.jp)
- 東京：
永谷 勉 (大 IP29、e-mail: nagatani1361@gmail.com)
- 名古屋：
伊東 昭廣 (大 E15、e-mail: aito-emk@arion.ocn.ne.jp)



剣道部伊豆合宿 (東京外国語大学・大阪外国語大学合同合宿)

前田 健二 (大 IP40)

2021 年 11 月 6 日～7 日、毎年恒例の、剣道部伊豆合宿が開催されました。東京外国語大学・大阪外国語大学の剣道部の OB・OG が 10 数名集まり、対校戦が開催され、団体戦で東京外国語大学 OB・OG が勝利しました。試合の後は、合同稽古で汗をかき、温泉で汗を流した後は、さながら学生時代の春夏合宿のように、民宿の 1 室で、夜遅くまで宴会を楽しみました。

剣道部伊豆合宿は、元々、大阪外国語大学が大阪大学に統合されることが決まった時に、「東外戦の灯を絶やしたくない」との一部有志の熱い思いから、各地で実施された後、最終的に、現在のように、毎年 11 月初旬に、伊豆高原の「無限館」という剣道場が併設された民宿で、東京外国語大学・大阪外国語大学合同合宿という形態で開催されるようになりました。

剣道には「交剣知愛」という言葉があります。この言葉は「剣道を通じて互いの理解を深め、人間的な向上をはかる」という意味ですが、まさに「交剣知愛」を地でいった素晴らしい時間を過ごしました。

剣道は、老若男女が楽しめるという特性があり、歳を重ねても楽しむことができます。最近では、昇段を目指す OB・OG が増えてきて、実際に、6 段 7 段の高段者も輩出するようになりました。皆、日本のみならず、海外の各地で、指導者として活躍すると同時に、自分自身の剣技向上の為、楽しみながらも、真剣に稽古を続けています。

これからも、お互いに、1 年間の修行の成果を披露しあう場として、親交を温める場として、かつて学生時代に純粋に剣道に打ち込んでいたあの頃を思い出す場として、剣道部伊豆合宿を、ずっと続けていきたいと思っております。

大徳寺精進料理

津田 真須美 (大 C42)

大徳寺 一久

〒603-8215 京都市北区紫野下門前町

☎ 075-493-0019

令和3年度 咲耶会総会のご報告

創立 100 周年の年、新型コロナウイルス終息への願いもむなく、令和 3 年度咲耶会総会が 11 月 13 日(土)、箕面新キャンパスにて、オンライン併用で開催されました。皆様からの浄財により実現した「大阪外国語大学記念ホール」のお披露目を兼ね、多くの方々のご出席を期待していましたが、議案審議のための簡素な総会となりました。

会場出席者 50 名、オンラインでの出席者 38 名、委任状提出者 143 名、計 231 名での総会でしたが、総会前の幹事・支部長会議は 2 年ぶりに対面での開催が叶いました。

大水勇会長、竹村景子名誉会長のご挨拶につづき、令和 2 年度の決算報告と令和 3 年度の予算案を審議・承認。この総会で特筆すべきは、2007 年の大阪大学との統合後初めて、プライマリーバランスを達成、200 万円余りの黒字となったことでした。

本部役員の選任では、令和元年度総会で選任された幹事のうち、河井洋子氏と松本健二氏のお二方が退任。長期にわたり会長、相談役を歴任された磯田良一氏の訃報が伝えられました。新幹事大江昌子氏 (大 B43) を加え、前年度選任された役員・幹事を除き、全員の再任が承認されました。

報告事項としては、第 6 回「咲耶出版大賞」の選考結果を石野伸子選考委員長から発表。表彰式は割愛、受賞者のスピーチに代えて、大賞受賞者の春名幹氏、特別賞受賞者の霜島慶邦氏の感想文を咲耶会のホームページに掲載する旨伝えられました。

翌日この記念ホールで、「司馬遼太郎記念学術講演会・箕面新キャンパス開学記念国際シンポジウム」がオンラインで開催されるというお知らせも、コロナの時代ならではのものでした。(文責: 井上泰子)

令和 4 年度 咲耶会総会の開催について

今年こそはと、対面による開催を期待していた箕面新キャンパスでの咲耶会総会ですが、3 年つづきのオンライン併用での開催となります。一年遅れとは言え、大阪外国語大学創立 100 周年・箕面新キャンパス開学記念にふさわしい同窓生の再会の場を、多くの方が心待ちにされていたと思います。新型コロナウイルスが依然猛威を振るい、7 月の咲耶会幹事会で慎重に検討した結果、昨年、一昨年に準じた形での開催となりました。

講演会、懇親会は割愛、議案の審議に絞り、オンライン併用にて、下記のとおり開催いたします。会員の皆様には、ご了承くださいませよう、何とぞよろしくごお願い申し上げます。

一日も早い事態の収束を願い、母校創立 100 周年と新キャンパス竣工の感動新たなうちに、多くの会員の皆様が一室に会する「特別記念総会」が実現するよう願っています。

日 時: 令和 4 年 11 月 12 日(土) 午後 2 時 00 分～3 時 00 分
会 場: 大阪大学 箕面キャンパス 外国学研究講義棟 1F
「大阪外国語大学記念ホール」
所在地: 〒562-8678 箕面市船場東 3-5-10
☎ 072-728-2327 (咲耶会事務局直通)

アクセス: 北大阪急行・大阪モノレール「千里中央駅」または、阪急電鉄「箕面駅」から阪急バス乗車、「新船場北橋」下車、徒歩約 5 分
議 案: 第一号議案 令和 3 年度決算および会計監査報告
第二号議案 令和 4 年度予算案
第三号議案 令和 4 年度本部役員選任
その他: 第一号議案と第二号議案については、p.24 決算報告書と予算案をご参照ください。

参加ご希望の方は、同封のはがきにてお申込みください。オンラインによる参加を希望される方は、はがきにメールアドレスをご記入ください。咲耶会会則第 5 章 会議)により、委任状による出席も認められています。第 27 条 総会の議事は、出席正会員・準会員および特別会員の過半数をもって決し、可否同数のときは議長が決するところによる。(委任状出席) 第 28 条 総会にやむを得ない事由により出席出来ない正会員は、委任状を提出して前条の議決に参加することが出来る。その場合、委任状を提出した正会員は、出席したものとみなす。
※なお、当日、午前 11 時 30 分～午後 1 時 30 分の間、咲耶会幹事会を開催する予定です。

創立100周年・箕面新キャンパス 整備事業へのご寄付のお礼とご報告

2021 年、母校が創立 100 周年を迎えたこの年、箕面市船場に箕面新キャンパスが誕生しました。「大阪に国際人を育てる」という開学の理念を具現化する場として、大阪外国語大学の名を冠した「記念ホール」を設置することは、同窓生の切なる願いでした。2018 年から会員の皆様にご寄付をお願いしてまいりましたが、皆様の温かいご理解と母校愛により、2021 年 4 月、外国学研究講義棟 1 階に「大阪外国語大学記念ホール」が完成しました。

竣工以来、国際シンポジウムや学会、講演会、市民フォーラムなど、「新たな知を共創する場」として大いに活用されています。咲耶会の総会等、同窓会活動の拠点としても重要な役割を果たしています。ご寄付いただいた皆様には、この場を借りて厚く御礼申し上げますとともに、募金の最終結果をご報告いたします。

● 大阪大学未来基金「箕面新キャンパス整備事業」のご報告 (2022 年 6 月末現在)
寄付者延べ人数: 950 名 寄付総額: 41,231,409 円
団体による寄付: 18 団体 寄付総額: 17,748,795 円
個人・団体の寄付総額: 58,980,204 円 (咲耶会からの寄付金 1,350 万円を含む)

<咲耶会からの寄付の内訳>
第 1 回: 10,000,000 円 (2020 年 2 月、咲耶会積立金から)
第 2 回: 3,500,000 円 (2021 年 6 月、100 周年記念事業(記念グッズ付寄付事業)から)
※寄付者のご芳名については、大阪大学ホームページをご覧ください。
累計で 10 万円以上のご寄付をいただいた方のご芳名を寄付者顕彰プレートに記し、記念ホールに掲示しています。グループで寄付された場合はグループ名を記載しています。

● 外大 100 周年記念寄付事業プロジェクト(記念グッズ付寄付事業)のご報告
2020 年 8 月～2021 年 11 月の期間、SNS による募金活動を実施。2021 年 10 月 2 日(土)、3 日(日)の「箕面国際フェスティバル」でも募金を呼びかけました。
寄付総額: 8,384,800 円 (寄付想定額 700 万円)
総経費: 4,103,810 円 (デザイン料、返礼品製作費、送料、決済手数料、印刷費等)
(2019 年度 330,000 円、2020 年度 3,523,337 円、2021 年度 250,473 円)
差 額: 4,280,990 円

350 万円を大阪大学未来基金「箕面新キャンパス整備事業」に寄付。50 万円を大阪大学未来基金「咲耶教育研究事業」に寄付。(2021 年 12 月) 残金 280,990 円については、事務経費として咲耶会会計に入れる。寄付事業の会計報告を 2 月 12 日の咲耶会幹事会で承認。2 月末日、咲耶会会長と名誉会長の連名による礼状と寄付事業の会計報告を web サイトに掲載。返礼品在庫については、咲耶会保存分を残し、残りを外国語学部へ寄付。
※箕面市の「ふるさと納税」を通じてご寄付いただいた皆様には、この場を借りて、厚く御礼申し上げます。
※「箕面新キャンパス整備事業」の目標であった「大阪外国語大学記念ホール」が完成しました。今後は、外国語学部の学生支援を目的とした大阪大学未来基金「咲耶教育研究事業」へのご支援をよろしくお願いいたします。

会費のクレジット決済をご活用ください

2018年4月から、咲耶会では会員の皆さまからの会費、賛助金を少しでもご協力していただきやすくするために、クレジット決済を導入しています。年々、会員が増加し咲耶会活動にかかる予算も増加する中、皆さまのご協力、ご支援で咲耶会活動の活性化と母校支援を充実させていきたいと存じます。海外からのお支払いも便利になりましたので、海外支部の皆さまには、ぜひご活用いただきますよう、よろしくお願ひいたします。詳細は、咲耶会ホームページをご覧ください。

このクレジット決済は咲耶会のデータ管理、名簿作成で長年業務委託している株式会社サラトのシステムを利用していますが、クレジット決済に関するクレジット情報は三井住友ファイナンシャルサービスにのみ残るシステムで運用していますので安心してご利用ください。

※ご利用いただけるクレジットカードは、  VISA、Masterのみです。

※咲耶会ホームページから、クレジット決済ページへアクセスすることができます。

<咲耶会ホームページ> sakuyakai.net

なお、2019年度から、会報『咲耶』賛助金を、会報以外の多目的に活用させていただくため、単に「賛助金」といたしております。皆さまの温かいご理解のもとご支援よろしくお願ひ申し上げます。

咲耶会特別企画「夏まに届け！チェキ100枚メッセージ」

7月9日(土)、新キャンパスで初めての「夏まつり」が開催されました。コロナ禍のため3年ぶりの開催でしたが、当日は天候にも恵まれ、2,600人もの来場者がありました。

外大時代からの伝統行事で、旧間谷キャンパス時代には、咲耶会のイベントとして「古本市」を出店するのが恒例でした。

今回は、昨年10月の「箕面国際フェスティバル」につづき、「大阪外国語大学記念ホール」での屋内展示・イベント企画に参加。創立100周年にちなみ、大阪外国語大学の歴史や咲耶会の諸活動を紹介する写真パネル、資料等を展示しました。展示作業を手伝ってくださった学生実行委員会の皆さんの誠実な仕事ぶりは誠に頼もしく、同窓会の存在を直に知っていただける絶好の機会として、学生さんとの交流を大いに楽しみました。

今年の目玉は、何といっても、特別企画「夏まに届け！チェキ100枚メッセージ」でした。咲耶会若手活性化委員の後藤幹事による企画で、用意していた100枚はあっという間になくなりました。友人同士、家族と一緒に撮影で心がなごみ、同窓生の交流の場として予想以上の盛り上がりでした。写真のボードは、7月末までエントランスホールに飾らせていただきました。

コンビニエンスストア・郵便局でのお支払いに関する変更点

●振込用紙のコンビニバーコードでスマホ決済が可能になりました。
◇本年度よりコンビニ用バーコードをスマートフォンの以下のアプリで決済できるようになりました。ご利用方法につきましては各アプリのホームページでご確認ください。

◇ご利用可能なアプリ: PayPay、auPay、LINEPay、PayB

●郵便局での窓口現金振込に手数料が発生します。

◇2022年1月17日より、郵便局から現金でお振込みいただく場合、振込金額以外に振込人負担として110円が加算されることになりました。従来、払込料金が受取人負担の場合、振込人の負担はありませんでしたが、今後はご注意ください。郵貯通帳や郵貯カードでお振込みいただく場合、この手数料110円は加算されません。

毎年、当会より会員の皆さまへ送付する同窓会報に振込用紙を同封しています。お手元に届きました振込用紙をご利用ください。振込用紙を紛失した方は、郵便局もしくはクレジットカードでの払い込みをお願いいたします。(コンビニエンスストアでの払い込みはできません。)払込手数料は、当会が負担いたします。ご利用いただけるコンビニエンスストアは以下のとおりです。



■振込用紙は下記の3種類を同封しています。

- ③については、別紙となっています。
- ①年会費 3,000円のみ送付用(郵便局、コンビニエンスストアのどちらでも使えます。)
- ②年会費・賛助金一括送付用(年会費 3,000円、賛助金一口 3,000円、計 6,000円を一括してお送りいただけます。郵便局、コンビニエンスストアのどちらでも使えます。)
- ③年会費 3,000円+賛助金2口以上の一括送付用(郵便局でご利用ください。金額欄は空欄です。年会費と賛助金の合計額をご記入ください。)

OSAKA SOGO DESIGN
あなたの可能性を広げる
ジブンデザイン

3 Fields

学校法人上田学園は、80年の歴史を持ち、ファッションやデザイン分野の第一線で活躍するクリエイターを輩出し続けています。

UEDA GAKUEN
上田学園
http://uedagakuen.ac.jp/
大R24 理事長 上田哲也

UEDA College of FASHION

第7回 咲耶出版大賞が決定しました

選考委員 脇坂洋子(大D27、院後期言語9)

卒業生や教員によって執筆・翻訳された出版物を対象に外語精神溢れる作品を顕彰する「咲耶出版大賞」の第7回受賞



作品が決定した。三木雄一郎氏(大IP31)が翻訳された『泥の裾』(原著ファニーシュヴァルナート・レーヌ作『マイラーアーンチャル』在大阪・神戸インド総領事館発行)が大賞に選ばれた。特別賞の選出はなかった。

今回も、時事的な問題に関する鋭い考察、実用的な語学学習法、芸術

作品紹介、学術的な研究を一般読者向けに書かれたもの、意欲的な翻訳作品等、多彩な10作品が寄せられ、選考委員がさまざまな観点から討議を重ねた。

大賞に決定した「泥の裾」は、インドの貧しい小さな村を舞台に、母なる大地の裳裾で土にまみれて生きる人々の生活をパノラマの目配りで、あますところなく描き出している。

次々と登場する人物の名前や関係を整理しながら読み進むうちに、独立インドの負の側面を背景に、遅れた農村に生きる人々の生活風景が鮮やかに立ち現われてくる。卑小な庶民達の争いの場面では、現代インド映画の群舞さながら人々が躍動し、あるいは、古代叙事詩の神々の争いの香りすら漂わせる。

独立後50年代のインド文学の大きな潮流の一つに「地方

令和3年度 決算報告(令和3年7月1日~令和4年6月30日)

	決 算	(単位: 円)
収 入	入会金収入	1,475,000
	年会費収入	4,599,000
	賛助金収入	2,016,000
	咲耶広告収入	376,000
	名簿及年史収入	1,624,438
	総会収入※	0
	大阪外大創立100周年記念事業寄附金収入	218,500
	雑収入	65,491
	合計	10,374,429
	支 出	援助金
事業費		320,462
運営費		4,320,974
咲耶作成費		2,617,934
咲耶通信費		2,056,115
大阪外大創立100周年記念事業寄附金		500,000
大阪外大創立100周年記念事業費		250,473
合計	10,265,958	
収支差額	108,471	

期首正味財産(前期より繰越)	36,926,386
期末正味財産(次期へ繰越)	37,034,857

※総会収入が0となっているのは、新型コロナウイルス感染防止のため懇親会を中止したことによる。

文学」がある。濃密な地方色を持ち地域性そのものを大きなテーマとする小説をヒンディー文学史上では「地方小説」と呼ぶ。日本では紹介される機会の少ないジャンルだが、レーヌの作品はその代表作である。

一般的な商業出版界では世に出ることが困難であったろうレーヌの作品を、在大阪・神戸インド総領事館からの支援により、日本の人々に知らしめる機会を提供した三木氏の功績は大きい。ヒンディー語からの翻訳については、三木氏の恩師にあたる溝上富夫名誉教授から高い評価が寄せられている。

大学卒業後30数年を経て、労作を刊行された三木氏の情熱とチャレンジ精神に敬意を表する。

【事務局より】大賞作品『泥の裾』は非売品です。お読みにになりたい方は、咲耶会事務局に6冊ありますので、メールまたは電話でご連絡ください。また、どうしても入手したい方は、咲耶会事務局までお申し出ください。

~新幹事紹介~

この度幹事を拝命いたしました。1995年ビルマ語科卒業、神戸で貿易会社を経営しています。20代の頃より偶然仕事上

出会った大先輩からのお誘いをきっかけに、神戸支部での活動も続けています。学生時代を懐かしむ懇親の場として、世代を超えた垣根のない新たな出会いの場として、咲耶会の発展を願ひ、微力ながらお役に立てればと思っております。宜しくお願ひ致します。



大江昌子(大B43)

令和4年度 予算案(令和4年7月1日~令和5年6月30日)

	予算案	(単位: 円)
収 入	入会金収入	2,000,000
	年会費収入	4,800,000
	賛助金収入	2,400,000
	咲耶広告収入	321,000
	名簿及年史収入	64,000
	総会収入	0
	大阪外大創立100周年記念事業寄附金収入	0
	雑収入	125,000
	合計	9,710,000
	支 出	援助金
事業費		610,000
運営費		4,480,000
咲耶作成費		2,620,000
咲耶通信費		1,700,000
大阪外大創立100周年記念事業寄附金		0
大阪外大創立100周年記念事業費		0
合計	9,710,000	
収支差額	0	

期首正味財産(前期より繰越)	37,034,857
期末正味財産(次期へ繰越)	37,034,857

※新型コロナウイルス感染症の流行により、咲耶会の活動全体に不確実性を伴う。

40年目の「なつま」

外大軽音楽部OB 久保田哲也
(大 IN35)

2022年7月9日箕面船場キャンパスは、どこまでも抜けるような青空に包まれていました。1981年に間谷キャンパスで始まった「夏まつり(通称なつま)」から40年の時を経て、当時と「同じメンバー」「同じ気持ち」で、こうしてステージに立ちバンド演奏が出来るなんて、想像もしていませんでした。用意されていたのは、船場のビル群を見晴らす3階デッキの野外ステージ。1980年代当時、間谷の住宅街に囲まれた「生協前ステージ」も趣がありましたが、船場キャンパスの都会的な雰囲気の中での演奏は格別のものがありました。



外大軽音楽部は、正式なOBOG組織は存在していないものの、2015年頃からSNSを通じたゆるやかな繋がりを端緒として、年に一度のペースでライブイベントを行っておりました。それが2020年春以降のコロナ禍のため、そうしたイベント開催は縮小を余儀なくされ、それは今も続いています。そんな中での、今回「なつま」野外ステージでの演奏は、大きな解放感を感じながらのものとなりました。来年以降も「なつま」ステージでの演奏をはじめとして、未永く音楽を楽しんでいこうと思います。なお、Twitter「大阪外国語大学軽音楽部卒業生掲示板 @OUFSLMC2020」でイベント情報を定期的に発信しております、是非フォローのほどよろしくお願いいたします。

大阪外語美術部の思い出

中島裕司
(大 DM24)

大阪外語の美術部は『ローロール(L'auore)会』という名前前で、歴史は古い。調べてみたら、1930年に第1回の展覧会をしていたという、記録がある。

『ローロール』(オーロラの意)の名前の由来はわからない。ローロール会のOBでないのに気が付けば、僕もその展覧会に参加するようになり、まったく違和感なく溶け込んでいた。僕の親くらいの年齢の大先輩であった。僕は若かったし、背が高かったし体力があったので、作品展示の中心として重宝がられた。毎回、展覧会そのものより、オープニングの集まりが楽しかった。ギャラリーにテーブルと椅子を置いて、軽く飲食しながら現況報告やいろんなことを話した。外見でいえばカイゼル髭が似合う樋口さんが思い出される。森鷗外のような風貌であった。京都外大大学長、某大手商社の取締役、NHKの局長や大学教授や新聞社の方や自営。皆さんすでに退職されていたけど、教養あるオシャレな人たちであった。田中さんが一番の年配者。ドイツ語を交えての近況報告は嫌みでなくてオシャレな感じがしたものだ。

僕ともう一人以外はすでに亡くなっている。

現在、阪大外国語学部という阪大に美術部はあると思うけど、実際に活動しているのかな一名前とかどうなっているのかなーと。大阪ではオーロラは見えないけれど、僕の心の中ではたまにローロールのメンバーが出てきます。

東京支部

久保義昭 (東京支部長・大 S14)

新型コロナの逆風が吹く中、東京支部の活動も、一時停滞していましたがビアパーティを除き、ほぼ正常な形に戻りつつあります。

昨年10月の東京支部総会は、総会に続き大阪から竹村景子外国語学部長をお迎えし、「箕面キャンパス移転と大阪外国語大学百周年を同時に迎えて」をお話いただきました。その後の懇親会は実施しませんでした。今年の10月16日(日)に実施予定の東京支部総会では、バイキング形式でなく食事会の形で懇親会を行いたいと考えています。

来年1月15日(日)予定の東京支部新年会も、新春放談会の後、支部総会と同様の形で懇親会を開きたいと思えます。

月例会は、2020年12月から対面とオンライン(ZOOM)のハイブリッド型で実施し軌道に乗っています。参加者も東京支部管内(関東)にとどまらず、国内では大阪・名古屋・岡山・愛媛等、外国からは時差を物ともせずロンドン・カリフォルニア・ミャンマー等、大阪大学からは法学部・経済学部・工学部・基礎工学部同窓会、東京外語会の方々も参加されています。また、参加出来なかった方には、当日使用したパワーポイント資料(PDF)をメールで配信し、好評を得ています。

若手会員が数多く集まる、ビアパーティは残念ながら3年連続中止としましたが、来年は何らかの形で復活させたい、と考えています。



長野支部

山西敏博 (長野支部長)

大阪大学言語文化研究科
博士後期課程 言語社会専攻・満期単位取得

2018年度より山陰両県の支部、19年度からは長野支部の統括を拝命しております、山西敏博です。新学舎開校2年目および大阪大学創立91周年・大阪外国語大学創設101周年おめでとうございます。過日は記念式典に参列して、歴史の長さを感じました。

2018年12月、初の「鳥取県・島根県 合同同窓会」にて260名中14名、翌年2月「鳥取県東部同窓会」にて8名のご参加を得ました。また、2019年は鳥取県から長野県に異動をしました。異動後は「長野支部」を新設し、2019年8月に初の「長野県支部設立記念同窓会」を中信(信州中央)地域・松本市にて開催しました。140余名中13名のご参加を頂きました。

2020年度には、国難のコロナ禍においても、12月5日(土)に東信(信州東部)地域・上田市にて「長野県支部第2回同窓会」を開催しました。140余名中3名のご参加を頂きました。



そして、2021年度は、12月4日(土)に北信(信州北部)地域・長野市にて「第3回同窓会」を開催しました。全7名、遠くは東京からもご参加頂きました。2022年度は、国難3年目のコロナ禍ではありますが、南信(信州南部)地域・諏訪市にて【11月26日(土)18時～、第4回同窓会：仙岳 諏訪本店(諏訪市湖岸通り5-17-3)】を開催したいと存じます。各地域にお住いの皆様に参加をしやすいように、大きな信州国を一巡しています。皆様ご参集下さいませ。詳細なご連絡は、山西宛にご連絡下さいませ(ezm11541@nifty.ne.jp / 080-3237-0225)。コロナ禍に負けることなく、咲耶会を信濃國で盛り立てましょう! よろしくお願いを申し上げます。

岐阜支部

丹羽宏造 (大 IN7)

支部総会 何とか開催したいのですが現時点では、もう少し成り行きを観察しないと確定できません。悪しからず、ご了解お願いいたします。

名古屋支部

白岩 修 (大 D19)

コロナ禍での名古屋支部活動について

昨年も一昨年同様、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、名古屋支部の活動にも大いに支障がありました。今年に入っても、まん延防止重点措置が出され、引き続き活動があまりできませんでした。ただ、ワクチン接種も順調に推移し、この会報「咲耶」33号が皆様のお手元に届く頃にはコロナも収束して、名古屋支部の活動が再開していることを願っています。

当支部では恒例の昼食懇談会もコロナの影響で中止しています。ただ、コロナも減ってきていますので、再開を検討しています。

昨年12月には総会(忘年親睦会)を開催予定でしたが、コロナの影響で中止しました。ただ、当日会員の皆様にはメールをして、咲耶会の財政状況が非常に厳しく、「年会費」、「賛助金」を支払って頂くようお願いをしました。

今年は12月10日(土)に総会(忘年親睦会)を予定しています。会場は、ホテルルブラ玉山(池下)です。特別講演会の講師には昨年予定して頂いた土森道雄氏(大 T17)に演題「東西交流の要の小国、Sri Lanka(債務の罠に沈み込む、2000有余年の歴史を持つ仏教国家)」で講演をして頂く予定です。

名古屋支部では咲耶会本部並びに東京支部からいろいろ有意義な情報を頂いています。名古屋支部ではそれら情報を会員の皆様へメールでご連絡をしています。その為、メンバーリストの充実は不可欠なので、愛知県在住の方は是非、

私宛にメールアドレスのご連絡を宜しくお願い致します。

又、現在三重支部はないので、三重県在住の方も私宛にメールアドレスを連絡して頂ければ、いろいろな情報をメールでお送り致します。

連絡先：名古屋支部長 白岩 修

TEL & FAX：052-806-7873 携帯：090-4865-8172

E-mail：shiraiwa1123@yahoo.co.jp

以上よろしくお願いたします。

京都支部

西尾 齊(大 E11)

コロナ禍による影響で、問題山積の状況に苦慮しているところです。

2020年以来、総会(例会)を中止。ために、支部同窓の皆様とは疎遠な状態が続いています。この間、京都支部の創立者である狩野勝也氏(大 C3)が、逝去されました(2021.7.21)。支部創設以来、常に活動の中心であり続けられた先輩を失ったことに、言葉がありません。更に、支部の設立当初から総会の会場としてまた支部活動の拠点としての場を提供して頂いて来た「京都ガーデンホテル」が、昨年を以て営業を終了。利用の都度、何かと便宜を図ってもらって来ただけに、今後の支部運営にとって大きな痛手です。

対面での会議・集まりが緩和されつつあり、早急に幹事会を開催し、今後の対応を協議する必要がありますが、目下、新たな会場探しに奔走の毎日です。

神戸支部

菊池信孝 (開発・環境大 S7)

「コロナ禍を言い訳にしたくないけれど…」この2年間さまざまな場面でこの言葉を耳にしました。兵庫県でも緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が続き、神戸支部も活動の延期や休止を余儀なくされました。

これまでのやり方が難しくなっていく一方で、在宅ワークやダブルワークなどの多様な働き方や、チャットアプリやオンライン会議などのコミュニケーションツールが普及しました。それにあわせて、人が集まるリアルなイベントに私たちが求める価値も変わってきたように感じます。

私自身とは言えば、今年から東京藝術大学でダイバーシティを学んでいます。平日はオンラインで授業を受け、週末や夏季休暇中はキャンパスで実習を受けています。オンラインとリアルの良いとこ取りをしたプログラム構成で、全国各地から100名以上の学生と社会人が参加しています。

これから先、コロナ禍という言い訳をしなくてもよくなる頃には、どのような支部活動が求められるのでしょうか? まだコロナ禍は収束していませんが、少しずつリアルなイベントも開催しやすくなってきた今のうちから、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた取り組みの種を蒔いていきたいと思えます。

奈良支部

佐柄保夫 (大C26)

奈良支部は、4月に88才で永眠された支部長の「神谷忠雄さんを偲ぶ会」を5月21日(土)近鉄奈良駅前ホテル花小路で、東京の久保支部長、京都の西尾咲耶会幹事の来臨をいただき、17名参加で行いました。



故人の業績を偲んで全員で黙祷し、読書会、語学勉強会からの惜別メッセージ、商社時代から長年親交のあった友人の方等の追悼スピーチ、遺影に献杯を捧げ、内山正克さん(大E4)がショパンの「別れの曲」をピアノ演奏、片本善清さん(大C9)がはなむけの漢詩を朗読し、最後のお別れをしました。戦後80年近い昨年は、東大寺念仏堂で奈良出身外大戦没者、今年は新しい物故者を8月に供養する予定です。

愛媛支部

垣生千春 (大IP40)

新型コロナの感染が始まって以来、愛媛支部の活動は完全に休止しています。総会を気にかけてくださっている方々には誠に申し訳ございませんが、今年度の支部総会も現時点では未定とさせていただきます。開催できる状況になりましたら、メールやLINEで連絡がとれる方に限られますが、改めてご案内いたします。この場をお借りして、愛媛大会の総会につきましてもご案内いたします。

愛媛大会は、毎年必ず8月第4金曜日の夜に盛大に開催されてきました。しかし、新型コロナの影響で、現在まで延期と中止が繰り返されています。今年度は8月開催にこだわることなく、コロナ感染の沈静化のタイミングで開催できるよう検討中とご連絡いただきました。外大卒の方も歓迎してくださいますので、興味を持たれた方は垣生までご一報ください。支部長交代以来、咲耶巻末の連絡先アドレスに誤りがあり、メールでのやりとりが十分に行えない状況になっておりました。今号からは修正されていると思いますので、支部活動へのご要望等何かございましたらお知らせください。よろしく願いいたします。

宮崎支部

近藤哲二 (II S10)

宮崎支部は、令和3年10月9日(土)に支部同窓会を開催しました。39名の方に案内状を送付しました。参加者は6名で、この内2名は初参加でした。コロナ由来の欠席もあり心配しましたが、皆さん賑やかな雰囲気の中で楽しい時間を過ごせました。同窓会いいものです。改めて感じました。

この事は、令和3年11月13日の大阪外大記念ホールでの幹事支部長会議で報告しました。宮崎県のコロナの状況は、6月22日時点で感染者103名まで減少しましたが、7月6日時点で571名と増加傾向にあります。コロナと共存できる日常生活を一日も早く確立したいものです。以下支部活動の状況の連絡
支部長、幹事は変わりありません。

- 1、登録会員数 156名
- 2、同窓会案内状送付数 39名
- 3、最近の総会
令和3年
10月9日(土)
参加人数 6名



マニラ支部

前岡 友 (大P54)

フィリピンでは年明けから少しずつコロナ感染者が減少し、それに合せて政府による規制も緩和されてきました。現在は飲食店でのイトインや一部の娯楽施設の営業も再開しています。



そういった中、6月8日に対面での咲耶会が開かれました。実に2年半ぶりです。オンライン飲み会は場所や服装を気にせず、カジュアルに楽しめるのが利点ですが、対面形式では皆さんの表情や場の空気をダイレクトに感じる事が出来ます。日本では昔から「同じ釜の飯を食う」と言いますが、同じルーツを持つ方々と食卓を囲み気兼ねなく盛り上がるのは本当に貴重なことだと、改めてその有難みを感じました。現地では最近、お洒落なカフェや食べ放題のレストランが多くのお客さんで賑わっているのをよく見かけます。コロナ禍でテイクアウトや宅配が急速に進化・浸透し便利になったものの、こうやって沢山の人がお店で家族や友人と一緒に飲食を楽しんでいる姿を見ると、やはり食と空間はセットで楽しむものなんだと再認識させられます。自分も食品産業に携わる人間として、食に熱いフィリピンの人々にどんな美味しさや楽しさをお届け出来るか、これからも創意工夫を重ねていきたいと思っています。

北京支部

高橋咲代 (阪大C5)

大家好!咲耶会北京支部から中国の近況を皆さんにお届けいたします。



中国では、今年2月から3月にかけて、北京冬季オリンピック・パラリンピック大会が開催されました。観客は関係者のみで、残念ながら私は直接観戦することは叶いませんでしたが、開会式や閉会式をテレビの生中継で見ながら、花火を家の窓からちらりと見られたり、マスコットキャラクターや選手を起用した広告を街中の色々な所で目にしたり、中国人の同僚と日々試合結果の話題で盛り上がったりと、五輪開催中の北京を味わうことができました。

中国ではゼロコロナ政策により、昨年は感染者数も落ち着いて会食や国内旅行も比較的自由にできていたのですが、今年3月下旬以降は変異株の影響もあり、中国国内でも感染者が増えました。上海のロックダウンのニュースを目にした方も多いと思いますが、北京でも4月下旬から5月は、外食禁止や在宅勤務の通知が出され、外出して集まったりすることが難しく、PCR検査も日課というような状況でした。

新型コロナの影響もあり、最近はなかなか咲耶会北京支部の懇親会も開催できずにおりましたが、6月に入り徐々に落ち着き、外食等もできる環境になってきましたので、状況を見つつ活動を再開し、親睦を深められればと考えております。今年の日中国交正常化50周年の記念の年になります。このような節目の年を現地で過ごしながらか、これまでの50年について、またこれからの日中の未来について、自分なりに改めて考えていきたいと思っています。

自由な日中往来が実現するにはまだ時間がかかりそうです。私自身も一年以上日本に戻っておらず少々望郷の念が募るところではありますが、東京・北京で開催されたオリンピック・パラリンピック、そして2022年の日中国交正常化50周年という様々な節目をこの異国の地で過ごす意味を、コロナ前には無かったであろう視点から考え、日中の未来を見つめていきたいと思っています。

ハノイ支部

中本修一 (開発環境大48)

咲耶会ハノイ支部は、東京外大と合同で運営している「ハノイ外語会」をベースに年3~4回程度集まっております。2020年度からはコロナ禍の影響もあり、変則開催となりましたが、各専攻語出身者の持ち味を活かし、ハノイ市内の各国料理店(インド料理、ウクライナ料理、メキシコ料理等)で食事をいたしました。会では、冒頭幹事による料理・言語・文化に関する簡単な説明の後、料理とお酒を楽しみながら、各国言語・文化事情について語り合う、まさに「外語出身者」らしい会となります。

また新たな取り組みとして2022年度からは「外語会ゴルフ」を企画し、既に2回開催しました。まだ対抗戦が開催できるほどの規模ではありませんが、将来的には「東京・大阪対抗戦」(東外戦)ができるように参加者を募っていきたくと思います。

最後に当地のコロナ状況ですが、毎日の感染者が1,000人前後(2022年7月16日現在)と一時期に比べると大分落ち着いてきましたが、新株の影響もありベトナム政府は4回目のワクチン接種を加速化させております。引き続き感染対策に留意しつつ、「ハノイ外語会」を通じて、会員間の親睦を深めて参りたいと思います。当地ご赴任の際には是非ご参加ください。(連絡先:shuuichi.nakamoto@mizuho-cb.com みずほ銀行 ハノイ支店 中本)



外語会ゴルフ2回目写真 @ハノイゴルフ(筆者は右から2番目)

ヤンゴン支部

松島勇治 (大B27)

暁の4人
コロナに関する規制は、ワクチン接種を2回以上受けていれば、入国時に必要書類はミャンマー保険会社発行の保険証書のみとなった。昨年2月1日勃発のクーデターは、地方では反対勢力の頑張りが根強いものの、ヤンゴンやマンダレーでは概ね正常に近くなっている。しかし4月3日発表の強制兌換の影響は甚大で、コロナ規制から痛めつけられてきた経済は復興の兆しは見えない。



大人数の同窓会は開催できなかったが、少人数の「里心会」「愚痴る会」「送別会」は何とか開催できた。6月17日夜同窓会関連駐在員全員で送別会を行った。4名が全員でこのうち1名が7月初めに帰国される。言わば「最後の4人」で、表題の「暁」の時刻ではないが、これからのご来光を期して「暁の4人」と題した。帰国者には新天地での一層のご活躍を、残る我々には更なる忍耐を、そしてミャンマーには真の平和が日の出のごとく訪れるように願って。

短 信

総会出欠ハガキの短信欄からの転載です

吉川昌宏 (大 D16)
何とか喜寿を超え、八十路に向かつております。一度、新キャンパスを見学したいなあとっております。上八学舎には夢のような世界なんだろうね。

鈴木丈郎 (大 S16)
喜寿を迎え、あちらこちらにガタが来ていますが、元気に日々を楽しんでいます。(コロナ禍をものともせず…)。やっと収束に向かうようでやれやれです。戸倉光明 (大 IP17)
合気道部(和氣会)のOB 会会長です。新学舎では道場が無く部は眞面で終わりました。OB 会は 59 周年の 2020 年を期して新学舎に拠点を移し存続しています。土森道雄 (大 TV17)
会報をいつも楽しんで拝読しています。今号 DM18 荒木さんの「古希からの英国留学」はビックリ。すごい人もいるものです。小生後期高齢者に入り乍ら文化センター諸講座を楽しみ、頭の体操にはげんでいます。

山下輝夫 (大 TV17)
毎日楽しく生活しています。健康維持が一番です。

西村 司 (大 F17)
新生 74 才ですが、千葉県松戸市にある PSS (TSE：マザーズ上場)の顧問を継続しております。役員・顧問を通算すると 20 年になります。英語仏語、外国人との営業交渉力を維持してきたおかげと感謝しております。

峯島(高垣)淑子 (大 IT17)
ギタークラブ OGOB 会の諏訪様の語劇監督としてお世話に感謝。先輩の中で一番良く覚えています。岡本様のご丁寧心温まる入会案内。お二方共演奏を続けておいてとの事。私の病気見舞の再度のお便りと写真。一層お元気で活躍を祈り上げます。伊語先輩土山様の励ましのお手紙。両方のお優しさに幸せを感じました。

中川裕二 (大 S17)
元気でいられる間は母校の発展に少しでも協力できればと考えております。阪大も外国語学部は一味違うといわれる様な学部になって欲しいと思います。

柳川大義 (大 R17)
77 歳。喜寿とは言うものの、高齢期を生きることの難しさを日々痛感しています。前へ、一歩でも前へ。

鎌本京子 (大 IP18)
おかげ様で元気しております。短大教員を退職してから、好きな様に暮らしております。奈茂で主に外大卒業生が集まり、英語勉強会があり参加しております。

中西 章 (大 TV18)
74 才になりましたが、お陰様で健康に過しております。皆様のご多幸を祈っております。

半田康彦 (大 P18)
会社を定年退職後、長年企業人として培った経験や知識を活かして、簡易裁判所の司法委員として、また都内地方自治体の消費生活相談員として様々なトラブル解決に携わる傍ら、江戸各所図会をもとに江戸東京歴史散歩の街歩きを楽しんでおります。

小田 寛 (大 E18)
新キャンパスの写真を拝見。素晴らしい。隔世の感あり。

佐藤 敬 (大 E18)
「年を取ると失敗や不自由が増えるのは自然です。それを除いたら< 老い > はやせてつまらないものになってしまう」とは黒井千次(作家)の談、勇気もらっています。この春、大学を定年退職し今はカウンセリングとDV 更正プログラムに従事しています。感謝の日々です。

森元 茂 (大 D18)
大阪外国語大学創立 100 周年ならびに眞面新キャンパスの竣工、誠におめでとうございます。1966 年 4 月～

1970 年 3 月の 4 年間通い続けた上本町 8 丁目の旧学舎がとてもつかしく思い出されます。卒業して早くも 51 年 7 か月になります。

山本 洋 (大 S18)
75 才ですが、元気にしています。コロナでステイホーム中です。

鶴飼 茂 (大 IN19)
外大グリー大阪もコロナ禍で長らく練習中止を余儀なくされましたが、漸く 10 月より練習を再開致します。これから練習を積み重ね、また演奏会が開催できますことを願っております。

大塚敏雄 (大 D19)
卒業して 50 年経過しましたが、今でも在校時の事が思い出されます。特に上八の校舎が目焼きついています。

白岩 修 (大 D19)
咲耶会名古屋支部長をしています。皆様「年会費」と「賛助金」を宜しくお願い致します。ジム、健康麻雀、テニス、カラオケ、男の料理等を楽しんでいます。たまの飲み会が楽しみです。

神崎康彦 (大 F19)
不安ながらも大丈夫です。今朝もまた変わらぬ目覚めほっとする。

木下育夫 (大 S19)
毎週土曜朝に外大合気道部 OBOG による「合気道体操リモートの会」に参加し、学生時代の部活を懐かしく思い出しながら交流しています。悠々自適とはいきませんが富山の田舎生活（スローライフ）を楽しんでいます。

諏訪忠泰 (大 S19)
来年、後期高齢者の仲間入りますが、コロナの収束で少しでも以前の日常生活を取り戻せるよう願っています。OG・OB の皆さん、咲耶会事務局の皆さんのご健勝と総会の盛会を祈念申し上げます。

服部健治 (大 C20)
2018 年 3 月に中央大学大学院教授を定年退職し（現在ビジネススクール・名誉フェロー）、引き続き一般社団法人日中協会理事長を務め、2021 年 6 月から副会長。大平正芳の記念財団の理事もしています。

筆本能行 (大 C20)
船場東の新学舎初めて見学させて頂きました。モダンで素晴らしいと思いました。図書館を利用して頂きたいと思います。

井田 泉 (大 K20)
念願の『日韓キリスト教関係史資料』第 3 巻を刊行できました。

交野正隆 (大 E20)
コロナ禍、孫達（6 人）ともなかなか会えません。家内と二人暮らしで自粛生活ですが、時々気晴らしに旅行を楽しんでいます。後 2 年で後期高齢者の仲間入りです。

松浦弘司 (大 DM20)
コロナ禍によるオンライン講義などに適応できず、大学講師を昨年退職しました。定年退職後 13 年間よく働いたものだと思います。もうアキマヘン。

神崎（岡野）信子 (大 F20)
元氣です。

畑山康幸 (大 K21)
朝鮮語を学んだおかげで、今も朝鮮語の新聞、書籍、映画、放送に接しても不自由しません。また、朝鮮民族の歴史や文化への興味はつきません。しかしその反面、積みあがった本や資料をどう整理するか悩ましいところです。

阿部博司 (大 M21)
コロナ禍外出できず、友人との会合もできず高齢者には体力的にも知的にもますますの衰えが激しく感じるこの頃です。早い正常な日常を待ち望んでいます。

上原 修 (大 IP21)
100 周年おめでとうございます。今後大学運営は厳しい時代に入りますが、もちまへのグローバルな創業の大学である利点を生かして益々の発展を期待します。

岡崎友美 (大 A21)
上八学舎を卒業後、新しい粟生間谷キャンパスには一度も訪れることなしに、新眞面キャンパスに再移転するのは少し残念な気もします。その意味で NHK の「引越し」特集番組は、いい記録を残してくれました。

寺尾（渡邊）裕子 (大 DM21 院 J16)
2022 年は新しい住まいで新年を迎え卒業して 50 年経過しましたが、今でも在校時の事が思い出されます。特に上八の校舎が目焼きついています。

大西正起 (大 S21)
上八学舎に 4 年通つて以来のご無沙汰です。キャンパスが 2 回も (?) かわつて懐かしく、新キャンパス見学かね総会出席させて頂きます。

かじ えいせい (大 S21)
コロナの為活動を控えていましたが、11 月に（総会后）招集をかけます。

杉本重雄 (大 S21)
自粛生活の中、1971 年秋の語劇祭で出演したロベ・テ・ベガ作「Los melindres de Belisa」(「気取り屋ベリサ」)の全文を翻訳しました。

藤井利男 (大 K22)
マーケティングコンサルタントとして営業支援しながら ECC で留学生に国際ビジネスを教えています。大和謙一 (大 M22)
新キャンパスへの移転おめでとうございす。ハンドボール部廃部と聞きました。OB として残念です。

矢田初恵 (大 IN22)
2021 年 3 月末で、現役引退しました。先輩、後輩諸兄のご活躍を祈念しています。

樋口正次 (大 E23)
大阪市天王寺区にあります興国高等学校で進学特別顧問をしています。囲碁四段です。

田島和也 (大 S23)
いつも会誌を楽しく読ませて頂いています。2020 年 1 月 JICA シニアボランティア勤務を終え、帰国しました。メキシコでの活動でしたが、その後、コロナ禍で身動きがとれず不自由な生活です。なんとかオリンピックボランティアができて良かったです。

鯨井優子 (大 A25)
咲耶会の活躍をいつも楽しみにしています。再任用が終わっても中学校で臨採で働いています。若者から元氣をもらっているんでしょ。コロナが収束したら咲耶会の総会に出席したいと思っています。

泉 るみ子 (大 P25)
新キャンパス移転、喜ばしく存じます。

日比 隆 (大 P25)
コロナ禍でマレーシアより日本へ緊急避難。アドバイザーを務めている現地企業とはリモートで何とかキープコンタクトしています。

服部弘義 (大 E25)
石清水の横を車で通勤しています。職場は竹林に囲まれ、大山崎天王山を校舎からながめています。

中野 均 (大 DM25)
昨年 43 年間勤めた会社を退職しました。上本町での学生生活をなつかしく思い出しています。

高木 亨 (大 R25)
本年 6 月末で年金生活に入りました。清水和彦 (大 C26)

上八校舎、生協のきつねソバ、南海飯店の餃子、近鉄パークのコーヒー、つぶれかけたスナックのウイスキー、うまかったなー。皆様はどんな思い出？また何かと聞こう!!

大場玲子 (大 TV30)
上八、眞面両キャンパスで学びました。移転の頃をなつかしく思います。

中村隆雄 (大 IP26)
近いうちに新キャンパスを訪れてみたいと思っています。

田中俊訓 (大 F26)
F26 の皆様お元気ですか？私は毎日、テニスとワンちゃんの散歩、そして再開したフランス語の勉強で忙しい日々です。

青野繁治 (旧教員・名誉教授大 C27 院 C12)
マイペースの生活が性格に合っていると感じる此の頃です。

須田 和 (大 IN27)
2021 年 6 月の市議会議員選挙で 4 回目の当選を果たしました。バトンを渡すべき女性。グローバルでダイバーシティの見識のある方と思っています。神田真喜子 (大 B27)
今年是非常勤講師として大学で英語を教えています。

味岡保雄 (大 E27)
のんびりと隠居生活をしておりましたが、今年の 4 月に再就職。現在、神戸親和女子大学で英語を教えております。

大橋章子 (大 E27)
姉の孫（中 1・小 6・小 1)の成長を楽しみにしています。

堀内宗隆 (大 C28)
コロナ禍の暇にまかせて、TOKYO 2020 オリパラボランティアとして「東京魅力紹介ビデオ」に出演 援しました。その URL は、https://www.youtube.com/watch?v=yukqYPHY1pY。2022 年は「口無し」でお願します！神様！

伊藤彦彦 (大 M28)
梅光学院大学勤務 中南文生 (大 IP28)
2021 年 12 月末で再雇用契約満了となり、41 年間の会社生活を終える事になりました。バイヤー筋、機械メーカー 11 年、不織布メーカー 30 年感無量です。

平井隆之 (大 TV28)
タイ語科卒業後 40 余年の社会人生活に区切りをつけ、帰国しました。富田先生をはじめとする恩師の方々、同期や先輩、後輩との絆、タイ語を専攻し、20 年間でタイで暮らし多くの方々との絆を得ました。タイ語を専攻した事に心から感謝しております。

横山博史 (大 A28)
再雇用で勤務して 4 年が経過しました。人事車で研修を担当しており、キャリア開発・ライフプラン・マネープラを解説しています。70 歳まで元気に働くことを目標にしています。

稲村（加藤）洋 (大 P28)
現在、福島南相馬市にありますが、上八学舎での生活は私にとって一生の宝物となっております。

川村優理 (大 TV29)
登録有形文化財「藤岡家住宅」の館長を務めています。

小柴弘弘 (大 K36)
眞面新キャンパス移転を御祝いします。近隣なので図書館を利用しています。佐伯ますみ (大 S37)
新しいキャンパス、とても魅力的ですね。この年齢になって、スペイン語検定の勉強をしています。

天野寛子 (大 TV38)
イギリスで 22 年生活しております。

棚田由紀子 (大 C39)
偶然のご縁から、特許事務所で外国語を担当するようになって、早 5 年。新卒入社した会社に次ぐ、職務歴となりました。中国語の特許明細書にられる機会も多く、学生時代からつかず離れず付き合ってきた (?) 中国語を生かせる喜びを感じています。

故 野田新一 (大 IN39)
息子の卒業以来咲耶会の資料等を送付していただ誠意にありがとうございました。企業後アメリカのフロリダ州へ留学（4 年間大学在籍）して、就職

田中美穂子 (大 TV30)
在学中は自分の専攻場で手いっぱい。せつかくいろいろな言語があるのに手が出せませんでした。現在 1 言語 2 ～ 3 年かけて独習しています。ぼけるまで以外語の半分くらいはクリアしたいものです。

久保田 篤 (大 C31)
1979 (昭和 54) 年入学、最後の上本町世代です。私の目の黒いうちに 2 回も母校の移転を経験するとは、思いもよりませんでした。

河邊昭浩 (大 E31)
日本の金融機関での 38 年間の勤務が定年となり、今年から米国系のベンチャーファンドで働いています。まだまだ現役です。

澤田ゆかり (大 C32)
咲耶 32 号を拝見しました。青野先生が編集長とのこと、なつかしくうれしく思いました。

日高宏子 (大 C32)
創立 100 周年・新キャンパス開学心からお祝い申し上げます。日々仕事から又、両親の介護へと語学から離れた日々ですが、とりわけ今回の会報を拝読させて頂き、久々に長らく忘れていた新たな心の感覚を味わわせて頂きました。これからも我母校が日本の国際交流の発信基地であり続け、人材を育成し続けられますこと心より祈念申し上げます。

保川一治 (大 M32)
4 月にて 35 年勤めた会社を退職し、9 月より社員 10 名程度のベンチャー企業に就職したところ。外大の後輩がおります。

安部寛之 (大 A32)
事務所は東京・京橋ですが、福岡でのテレワーク生活を満喫しています。

中路 亨 (大 E32)
早期退職して 7 ヶ月が過ぎました。翻訳者目指して、日英の言葉と向き合う日々です。言葉の勉強は今も昔も大変ですが、おもしろさも変わりません。

松野世史子 (大 DM32)
新キャンパスでも学生さん達が爽り多し学生時代を過ごされることを願っております。

青木（盛島）由香 (大 F33)
現在、ヨーロッパアンフラワーデザイン講師として毎週フラーアレンジメントを指導したり、グランフロント大阪公認フランダースサークル“アロハソシオ (Aloha Socio)”メンバーとしてうめきた広場やシップホール等でフラを踊ったりして楽しんでいます。

森 正樹 (大 S34)
現在、英検 1 級に挑戦中です。

高尾 潤 (大 R35)
20 年近くの海外で生活していましたが、今年から大阪での生活を始めています。いつか新キャンパスに遊びに行きたいです。

阿藤真紀 (大 E43)
3/11 移転前に眞面キャンパスを訪れました。移転は寂しいですが、外大（阪大外語)の更なる発展を祈っております。

阪原揚子 (大 TV44)
先日新キャンパスのお祭りに思い立つて後輩と行きました。きれいな設備の整ったキャンパスでやる気が出るだろうと思った反面部屋が狭くなってしまつて、保管場所に困るだろうと心配しました。私の時代は教授に見せていただく珍しい現地のものにとても心惹かれましたので。

中橋美紀 (南欧大 PB45)
卒業後、言語聴覚士として働いています。ことば（大学で学んだこととは離れてはいますが)でつながっているのは何だか不思議な感じもします。

山口（芝下）直子 (ロシア・東欧大 HG47)
2021 年 3 月 30 日に開催された「早稲田みか先生退官記念オンライン同窓会」は素晴らしいかったです。世界中で活躍する先輩・同期・後輩達とオンラインで繋がり、恩師早稲田先生のオンラインミニ講義を受講し、至福の時でした。企画して下さった幹事の皆様方、心より御礼申し上げます。

(各州)していましたが、R3.4.1 ニューメキシコ州アルバカーキ市にて死亡。ウィルス感染により2週間入院(ニューメキシコ大学病院にて)で他界しましたのでお知らせします。アメリカ在住 30 年間でした。父より。

前田健二 (大 IP40)
11/6-7、東京外大大阪外大剣道部 OB で合宿を行います。咲耶の記事にして頂けたらうれしいです。大阪外大剣道部は六段七段の高段者を多数輩出しています。

大栗真佐美 (大 C50 院前東ア 8 院後言語 14)
コロナ禍の折、みなさまいかがおすごしでしょうか。外国語を学ぶという大切さを実感する時でありました。オンラインで国際交流をしております。外国へいけずとも、心をかよわせることはできます。がんばりましょう。

海野（川上）祥子 (中・北欧大 E52)
眞面キャンパスの引越しドキュメンタリー、楽しく視聴しました。コロナで大阪へ帰省できず、引越し前のキャンパス訪問できず残念です。

高橋 明 (ロシア・東欧大 R53)
姫路市で看護師しながら頑張っています。国際看護、オーンモレキユラー療法について勉強中です。

若宮 武 (開発塾 54)
コロナ禍でもゆったり、のんびりと暮らしています。波が収まっているときにぜひ、高松のゲストハウス若葉屋へお越し下さい!

油井（中島）菜穂子 (東アジア大 C54)
大阪の私立大学勤務 12 年目になります。コロナ禍がまだ収束しませんが、マレーシアへの母子留学を計画中です。

田中郁子 (大 F42)
機会があれば、新キャンパスを見学に行きたいです。

下野佐紀子 (大 R42)
「ロシアへようこそ」プロジェクトのサントベテルブルグ担当やたい焼きカフェのサポート、DJ Kefir のマネージャーなどサントに深く関わっています。

清水いずみ (大 IN43)
20 年近く海外で生活していましたが、今年から大阪での生活を始めています。いつか新キャンパスに遊びに行きたいです。

竹内（岡）英子 (大 IN43)
2020 年に夫婦で小さな料理店を開業しました。返礼品のカードケースにジョブカードを入れて持ち歩いてます。

森 博美 (大 A43)
NHK ドキュメンタリーで母校の様子を懐かしく拝見させていただきました。コロナ禍の影響で関西から地元に戻り、新しいスタートを切っています。未経験分野での挑戦に日々成長を感じています。好奇心が止まりません。

阿藤真紀 (大 E43)
3/11 移転前に眞面キャンパスを訪れました。移転は寂しいですが、外大（阪大外語)の更なる発展を祈っております。

阪原揚子 (大 TV44)
先日新キャンパスのお祭りに思い立つて後輩と行きました。きれいな設備の整ったキャンパスでやる気が出るだろうと思った反面部屋が狭くなってしまつて、保管場所に困るだろうと心配しました。私の時代は教授に見せていただく珍しい現地のものにとても心惹かれましたので。

中橋美紀 (南欧大 PB45)
卒業後、言語聴覚士として働いています。ことば（大学で学んだこととは離れてはいますが)でつながっているのは何だか不思議な感じもします。

山口（芝下）直子 (ロシア・東欧大 R59)
2021 年 3 月 30 日に開催された「早稲田みか先生退官記念オンライン同窓会」は素晴らしいかったです。世界中で活躍する先輩・同期・後輩達とオンラインで繋がり、恩師早稲田先生のオンラインミニ講義を受講し、至福の時でした。企画して下さった幹事の皆様方、心より御礼申し上げます。

中村 健 (中南米大 S48)
2037 年 4 月頃より中南米諸国に長期滞在する予定です。2020 年 3 月末には帰国して、老後は日本で暮らすつもりです。

伊藤知子 (比較文化大 49)
ビルマ語を忘れつつあります。2 度目の結婚生活中です。

大栗真佐美 (大 C50 院前東ア 8 院後言語 14)
コロナ禍の折、みなさまいかがおすごしでしょうか。外国語を学ぶという大切さを実感する時でありました。オンラインで国際交流をしております。外国へいけずとも、心をかよわせることはできます。がんばりましょう。

海野（川上）祥子 (中・北欧大 E52)
眞面キャンパスの引越しドキュメンタリー、楽しく視聴しました。コロナで大阪へ帰省できず、引越し前のキャンパス訪問できず残念です。

高橋 明 (ロシア・東欧大 R53)
姫路市で看護師しながら頑張っています。国際看護、オーンモレキユラー療法について勉強中です。

若宮 武 (開発塾 54)
コロナ禍でもゆったり、のんびりと暮らしています。波が収まっているときにぜひ、高松のゲストハウス若葉屋へお越し下さい!

油井（中島）菜穂子 (東アジア大 C54)
大阪の私立大学勤務 12 年目になります。コロナ禍がまだ収束しませんが、マレーシアへの母子留学を計画中です。

田中郁子 (大 F42)
機会があれば、新キャンパスを見学に行きたいです。

下野佐紀子 (大 R42)
「ロシアへようこそ」プロジェクトのサントベテルブルグ担当やたい焼きカフェのサポート、DJ Kefir のマネージャーなどサントに深く関わっています。

清水いずみ (大 IN43)
20 年近く海外で生活していましたが、今年から大阪での生活を始めています。いつか新キャンパスに遊びに行きたいです。

竹内（岡）英子 (大 IN43)
2020 年に夫婦で小さな料理店を開業しました。返礼品のカードケースにジョブカードを入れて持ち歩いてます。

森 博美 (大 A43)
NHK ドキュメンタリーで母校の様子を懐かしく拝見させていただきました。コロナ禍の影響で関西から地元に戻り、新しいスタートを切っています。未経験分野での挑戦に日々成長を感じています。好奇心が止まりません。

阿藤真紀 (大 E43)
3/11 移転前に眞面キャンパスを訪れました。移転は寂しいですが、外大（阪大外語)の更なる発展を祈っております。

阪原揚子 (大 TV44)
先日新キャンパスのお祭りに思い立つて後輩と行きました。きれいな設備の整ったキャンパスでやる気が出るだろうと思った反面部屋が狭くなってしまつて、保管場所に困るだろうと心配しました。私の時代は教授に見せていただく珍しい現地のものにとても心惹かれましたので。

中橋美紀 (南欧大 PB45)
卒業後、言語聴覚士として働いています。ことば（大学で学んだこととは離れてはいますが)でつながっているのは何だか不思議な感じもします。

山口（芝下）直子 (ロシア・東欧大 R59)
2021 年 3 月 30 日に開催された「早稲田みか先生退官記念オンライン同窓会」は素晴らしいかったです。世界中で活躍する先輩・同期・後輩達とオンラインで繋がり、恩師早稲田先生のオンラインミニ講義を受講し、至福の時でした。企画して下さった幹事の皆様方、心より御礼申し上げます。

伊藤早姫 (東アジア大 M60)
大阪市内で元気に暮らしております。また、機会がございましたら出席させて頂きたいです。

秋本光希 (南アジア大 H60)
シアトル在住です。コロナで 2 年以上帰国できていません。(母代筆)

山中美乃 (阪大 F2)
コロナ禍においても無事に過ごしております。

三倉 南 (阪大 A3)
関西から名古屋に引越して 3 年経ちました。最近は体力作りとリフレッシュのため近場の低山に登っています。

大野瑞葉 (大 K5)
今は日本で企業内通訳翻訳、フリーランス日韓通訳翻訳家として活動しております。

長池史織 (阪大 IN5)
元気にしております。今は眞面に住んでいます。来年 (2022 年) からはどうなることやら・・・。先の見えない人生です。

奥水 凜 (阪大 C7)
第一子が生まれました。家庭と仕事の両立を頑張っています。

中嶋弘子 (阪大 V7)
2021.10.3 (日)に眞面国際フェスティバルに寄せて頂きました。模擬店やステージ等の演奏、学生達の熱気を感じました。地域と大学との一体感が感じられずばらしいフェスタでした。

齊藤涼花 (阪大 C8)
コロナ禍のため関西空港直行便ではなく、伊丹空港でチェックイン、荷物預けをして羽田、成田から海外へ向かうお客様が以前より増えています。JAL に勤めて 3 年、最近国際線教育の教官になり責任を感じています。

大橋花帆 (阪大 M8)
新キャンパス開校おめでとうございす。演田優希 (阪大 D8)
翻訳会社に勤務しております。医薬営業部に所属しているため、コロナ以降依頼が増加し忙しい過ごしております。

京野初音 (阪大 F8)
プロオーケストラ、大阪フィルハーモニー交響楽団にてコンサートを企画・制作する仕事をしております。コロナが落ち着いたらフランス人指揮者を招聘したいです。

林 杏子 (阪大 F9)
明治大学大学院修士 2 年 論文執筆中。福田奈史 (阪大 S9)
まさにコロナウィルスの感染状況が広がりはじめた年に卒業ということで、大規模な式典もできず卒業後も同期生とは会っていませんが、皆様元気で過ごしていることを願います。

副島明日香 (阪大 PB9)
現在、大阪大学人間科学研究科の大学院にて修士論文執筆に取り組んでおり、充実した日々を過ごしております。

有澤怜那 (阪大 E10)
4 月から新社会人としての生活がスタートしました。

佐伯知香 (阪大 E10)
卒業からあつという間に半年が過ぎてしまいました。今の仕事にもようやく慣れたようで、やりがいを感じております。

久岡宣弘 (説 D4)
ドイツ語会話は毎日続いています。私にとってはなつかしい言葉です。

峯松順江 (説 S4)
咲耶会のご連絡ありがとうございます。かつての上八グループのご活動なつかしく拝見しました。

飯田弘道 (説 E5)
腹部大動脈瘤が発見され緊急手術。昨日、無事帰宅したばかりです。78 才まだまだ頑張ります。

善元明寛 (説 D5)
11 月で傘寿になります。今も想い馳せる時があります。

短 信

総会出欠ハガキの短信欄からの転載です

茂幾周治 (短 R6)
 大津市に移住して 10 年になります。81 才です。元気に暮しています。総会の盛会を祈念しています。

富永 (鄭) 真己 (中・北欧夜 E30)
 この最近是国内で増えつつある外国人介護職についての調査研究をしています。現在の大学の定年まで納得できる研究成果をのこしたいなあと思う今日この頃です。

林 晋作 (中・北欧夜 E31)
 第 57 回岐阜市文芸祭(短編小説部門)文芸祭賞受賞。咲耶 32 号の朝井まかせて先生の講演内容、興味深く読ませていただきました。

石井ひとみ (国際夜 32)
 立派な新校舎ができておめでとうございます。

岸上光延 (東アジア夜 C33)
 92 才を迎えました。まだ生きています。することはいっぱいありますから、しばらくは死ねない一です。

野口 司 (比較文化夜 36)
 先月末(9月)に退院し、今は資格試験対策に動んでいます。

坂東瑠美 (南欧夜 F39)
 たくさんの卒業生の方が大変なご活躍されているのを拝見し、私も何かしたくなりました。

米原茉美耶 (南欧夜 S44)
 現在福岡在住の為、オンラインで参加致します。初めての参加で楽しみにしております。

徳田一彦 (II C1)
 ① TRINCKS シルクロード文化交流代表 ②日中関係学会評議員 ③(一般財団法人)日伯協会理事 ④神戸ユネスコ協会副会長・理事などを兼務しながら、日本国内・トルコ・インド・中国・台湾・韓国など時折、シルクロード関連諸国を旅しています！

野村信二 (II E2)
 コロナ禍に皆さんのご健康とご多幸を祈ります。共に負けず、生涯青春で一つづつ前行こう！

森川 仁 (II D4)
 特に布施先生にお世話になった者です。ご病気とお休いでございましたので、お元気でなによりと存じます。機会がございましたら是非宜敷くお伝え下さい。(以前お便りさせて頂いた際は先生ご住所より老人ホームへ転居され翌年心臓手術を控えているとご返信頂き、ご入院の際はお花を差し上げたご連絡下さるようお手紙差し上げたため、3年が過ぎどうしたらよいか考えあぐねておりましたので…)

黒木一吉 (II E10)
 今回は新キャンパス見学も兼ねた上阪を楽しみにしておりましたが、関西地区在住の方々中心の開催を切望します。申し訳ありません。

尾下守弘 (II S10)
 一昨年、定年退職し第二の人生まっしぐら。いままでお世話になった学校・会社・友人・知人に感謝いたしております。

林 沢松 (II C11)
 定年後を日本で会社勤務しています。

原 勝 (II C11)
 2021 年に 41 年間務めたスポーツメーカーを退職し、現在日本語教師としてオンラインで授業をしています。

田口彰彦 (II S11)
 今年の 8 月に心臓の手術をして、命が助かって、やっと人助けをする気持ちが強くなった気がします。

根岸 (神保) 君江 (II C12)
 創立 100 周年・眞面新キャンパス開学おめでとうございます。卒業後は関東で暮らし、長年外国語とは無縁の生活でしたが、NHKTV を拝見し「70 年史」を送っていただけで、本学で学んだことがとても嬉しく、学生時代

を懐かしく思い出しました。ありがとうございます。皆様のご多幸をお祈りいたします。

酒井良夫 (II E14)
 小生還暦を過ぎて元気が過っています。

内田千景 (II D14)
 昨年末、ベトナムより帰国致しました。日本語講師をしています。コロナの中、お互い健康で助け合いながら生活していきますよ。ごきげんよう！

大島幹雄 (II F14)
 関西学生アメフト審判を約 30 年続けています。また、東京オリンピック 2020 のボランティア (近代五種競技) に参加しました。

村上逸子 (II C16)
 一人で何とかやっています。

近藤孝一 (II S17)
 大学を卒業して 36 年が過ぎました。歳も 60 を越えました。いつまで生きれるかわかりませんが、気持ちはあの時のままです。(体力はちょっと…) でも外国語は奥が深くて楽しいですね。

荒川 (尾崎) 貴佳子 (II S19)
 新しいキャンパスに多くの人が自由に出入りできる日を待っています。

福原慶尚 (II E20)
 78 才。子どものころの夢だった秘密基地を裏山に作りました。日中は焼酎とアナログラヂオで楽しめます。夜はたまにクマが出るようです。

森田文枝 (II S23)
 仙台市博物館で支倉常長像やローマ市民権証書等を観覧し、当時の様子に思いを馳せて身の引き締まる感動を覚えました。

西田綾子 (II C25)
 東北支部の総会があれば、ぜひ参加したいと思います。

富崎宏子 (II D26)
 元気にしています。

諸田宣広 (II R26)
 私は元来、理数系や社会科学などの方が得意で、正直に申し上げると言語は苦手なのに外大で学び、在学生時代は言語は自身が学ぶ意義が見出せずいたのですが、減ってしまった言語の存在を知って、言語は単なる伝達手段ではなく、各地域の個性・文化だと考えるようになりました。

瀧本文治 (II C27)
 立命館大学 BKC 社系研究機構にて研究活動をしております。

森谷泰子 (II R27)
 かつてロシア語科 1 回生の時に、語劇で上演した「長男」を今度は日本語で上演します。時期は未定ですが、スタニスラフスキー・システムのもと演じる日が来るのが楽しみです。

岡本敏之 (II E28)
 外大を卒業して 24 年、昨年、念願の日本語教師になりました。コロナに加え、各々事情を抱える中、日本語を学ぶ学生たちとの授業はやりがいを感じる一痛、改めて自分の知識・技能のなさを痛感しています。

藤田敏文 (II D28)
 3 年振り北海道に戻りました。コロナが明けたら、また支部活動に参加したいです。

池田寿美子 (II R28)
 卒業してからもう何年にもなりますが、今でも情熱を持ってロシア語を現役勉強中です。

河北隆一 (II F29)
 卒業から 23 年経ち、50 歳になりました。趣味は将棋とピアノです。

楠根重和 (院 D7)
 Bonn 大学より明治初期に日本に来た Johannes Justus Rein の日記が発行されました。(編集長として)

年会費支払者・賛助金寄付者一覧

年会費のお支払い、賛助金のご寄付ありがとうございます。
 ※ は年会費と賛助金の両方を納入いただいた方です。ご協力ありがとうございました。

- C18 松倉(井澤)俊之
- C23 村上 貢
- C23 山脇芳三郎
- C25 中井康夫
- C26 込兼三郎
- 大C3 中井 隆
- 大C3 松浦慶治
- 大C4 青木明生
- 大C4 井戸太喜男
- 大C5 富永(磯部)邦夫
- 大C5 増田栄三
- 大C5 村上利雄
- 大C6 野口亮造
- 大C7 杉本達夫
- 大C8 梶山次雄
- 大C8 西勝雄雄
- 大C8 中空善彦
- 大C8 山田敬三
- 大C8 山本勝司
- 大C9 嘉門道彦
- 大C9 平岡 豊
- 大C10 加来洋二郎
- 大C10 辻 優
- 大C11 青木俊一郎
- 大C11 山田陽三
- 大C11 村岡 穆
- 大C12 前田(尾形)潤子
- 大C12 片桐淳二
- 大C12 齋藤彰一
- 大C12 嶋 貢
- 大C12 高松昌弘
- 大C12 田中敬二
- 大C12 戸高昭彦
- 大C12 玉山(西田)順彦
- 大C13 喜田 修
- 大C13 樹下嘉之
- 大C13 児玉範澄
- 大C13 坂野勝彦
- 大C13 住山 毅
- 大C13 田中晃治
- 大C13 田辺正明
- 大C13 田村(塚原)節子
- 大C13 友永正和
- 大C13 松井正雄
- 大C14 吉田茂彦
- 大C14 吉見典生
- 大C15 森本(石川)美佐子
- 大C15 伊藤彰一
- 大C15 岩本洋之
- 大C15 大木 勇
- 大C15 小部 修
- 大C15 田中清味
- 大C15 守屋 求
- 大C15 若林道朗
- 大C16 大藪二郎
- 大C16 高城丈夫
- 大C16 中土浩治
- 大C16 深谷裕康
- 大C16 若菜大樹
- 大C17 河原 清
- 大C17 野口忠夫
- 大C17 山本恒人
- 大C18 浅田隆司
- 大C18 井上浩弘
- 大C18 田中英二
- 大C18 浜名義雄
- 大C18 山高 光
- 大C19 岡崎(片山)悦子
- 大C19 後藤安男
- 大C19 春名 肇
- 大C19 松野賢二
- 大C20 荻田俊雄
- 大C20 茅田泰三
- 大C20 小林和能
- 大C20 辻野六郎
- 大C20 服部健治
- 大C20 筆本能行
- 大C21 名和又介
- 大C21 榎野喜代志
- 大C22 呂(王)英成
- 大C22 北畑(山本)千晶
- 大C23 朝倉潤真
- 大C23 竹内(竹内)玲子
- 大C24 小野善史
- 大C24 岡田(塩野)光子
- 大C24 仲畑尚敏
- 大C24 福富奈津子
- 大C25 徳永敏夫
- 大C25 西川孝次
- 大C26 佐柄保夫
- 大C26 佐藤唯文
- 大C26 清水和彦
- 大C27 岸(魚谷)昌代
- 大C28 井上俊二
- 大C28 水野義道
- 大C28 村本幸久
- 大C28 雪原(李)一人
- 大C29 津森(飯塚)住子
- 大C29 平松康弘
- 大C29 山下恒夫
- 大C31 井上(高橋)順子
- 大C32 沢田ゆかり

- 大I N10 才木友昭
- 大I N10 高野郁男
- 大I N10 中田浩二
- 大I N10 松木 優
- 大I N11 大田 実
- 大I N11 小原一浩
- 大I N11 堀田 実
- 大I N11 前田比佐夫
- 大I N12 澤井佳一
- 大I N12 品川辰弥
- 大I N13 有井 晟
- 大I N13 稲村芳岡
- 大I N13 宮崎衛夫
- 大I N13 森岡義典
- 大I N13 横田義明
- 大I N14 鈴木安夫
- 大I N14 井上(宮下)久生
- 大I N16 広瀬(山田)加代子
- 大I N17 本田正伸
- 大I N18 柳沢長四郎
- 大I N19 鶴岡 茂
- 大I N19 野崎淳一
- 大I N19 前田(井上)満美子
- 大I N19 森 和夫
- 大I N19 山崎 訓
- 大I N20 塩見 澄
- 大I N21 奥 文昭
- 大I N21 小田敏治
- 大I N21 本田義英
- 大I N21 三好勝春
- 大I N21 米田洋一
- 大I N23 石丸誠一
- 大I N23 辻本雅洋
- 大I N23 丹羽慎吾
- 大I N24 廣澤義幸
- 大I N25 大角幸彦
- 大I N25 林内(高田)典子
- 大I N26 中村由実
- 大I N27 安藤律男
- 大I N27 野村 泉
- 大I N27 竹田啓治
- 大I N28 澤井千尋
- 大I N28 松本(西村)雅子
- 大I N29 下野正一
- 大I N29 道幸静児
- 大I N29 南野忠之
- 大I N30 勝田美紀
- 大I N33 村田郁子
- 大I N34 墨 史朗
- 大I N35 高岡容子
- 大I N36 矢島正志
- 大I N38 沢地一夫
- 大I N38 田中美佐子
- 大I N40 金子敦子
- 大I N40 下平英輝
- 大I N41 上田(土屋)裕美子
- 大I N42 竹前(小林)望美
- 大I N43 竹内(岡)英子
- 大I N43 清水(小川)いずみ
- 大I N43 三隅理恵
- 大I N45 武田(平松)祐子
- 大I N45 興梧雅哉
- IP25 松永通温
- IP26 調子 肇
- IP26 中島宏二
- IP27 奥村義寛
- IP27 竹内玉蔵
- 大I P3 谷本富藏
- 大I P5 林本幸夫
- 大I P6 中川博行
- 大I P7 櫻村 肇
- 大I P8 若佐善哉
- 大I P8 平島忠彦
- 大I P8 藤田伊久三
- 大I P8 藤本清志
- 大I P8 増田次郎
- 大I P9 田中 勝
- 大I P9 谷 昌宏
- 大I P10 大西章文
- 大I P10 大根瑞穂
- 大I P10 久保泰三
- 大I P10 高 康治
- 大I P10 濱口(東岡)恒夫
- 大I P11 大湊幹郎
- 大I P11 澤田真一
- 大I P11 中本 登
- 大I P11 西森雅史
- 大I P11 山川洋一
- 大I P11 山崎義大
- 大I P11 和田(渡辺)幸子
- 大I P12 高水忠春
- 大I P12 福西雅夫
- 大I P13 奥平龍二
- 大I P13 坂口幸夫
- 大I P13 中村佳永
- 大I P13 日比敏夫
- 大I P13 平野 宏
- 大I P13 溝上富夫
- 大I P14 池田(伊藤)正夫
- 大I P14 須田悦生
- 大I P15 竹内俊一

- 大B36 村北(大原)清美
- 大B36 小山 淳
- 大B37 山田頼子
- 大B37 瀬尾あかね
- 大B38 倉本和寛
- 大B38 野口千恵
- 大B38 Fuman(野間)文江
- A24 村上 平
- 大A10 森野欣一
- 大A12 軸丸剛男
- 大A13 妹背捷二
- 大A13 海東 泰
- 大A13 長浜栄一
- 大A14 加藤 勇
- 大A15 塩尻 宏
- 大A15 塩尻(中村)和子
- 大A15 吉崎史明
- 大A16 梅野順義
- 大A17 小林良三
- 大A19 高階美行
- 大A20 石田(大西)明子
- 大A21 岡崎友美
- 大A21 古角未廣
- 大A21 野中正晴
- 大A22 鯉井(合路)優子
- 大A26 山崎(田樂井)章代
- 大A27 久保田法順
- 大A27 下脇一博
- 大A27 山森雅弘
- 大A28 須永(上田)恭子
- 大A28 後藤(木村)泉
- 大A28 松原 浩
- 大A28 横山博史
- 大A29 田中(山崎)久美子
- 大A30 藤原明男
- 大A32 安部幸彦
- 大A32 LEROUX(後藤)尚美
- 大A34 川口(一番ヶ瀬)洋子
- 大A35 大谷健司
- 大A36 東條謙治
- 大A37 野間(榎本)了子
- 大A37 武藤宏幾
- 大A38 ケニー(尾上)敏江
- 大A39 谷田川(般若)優子
- 大A40 根谷川(山本)厚子
- 大A42 田中(田中)久美
- 大A43 菅野 好
- 大A44 前川(今元)裕美子
- 大P16 香川英明
- 大P18 奥田素子
- 大P18 半田康彦
- 大P20 長塚 匠
- 大P20 道須通史
- 大P22 石田義博
- 大P22 泉 四郎
- 大P22 高橋和夫
- 大P23 田伏辰夫
- 大P24 遠藤比登志
- 大P24 竹下之勇美
- 大P26 宮原武文
- 大P28 稲村(加藤)洋
- 大P29 志茂(小方)智子
- 大P30 成実幸彦
- 大P33 野垣(清松)和美
- 大P34 中矢定隆
- 大P35 サリバン(守屋)美紀
- 大P36 宮城(坂本)展子
- 大P37 真野(加藤)一恵
- 大P37 米田(森田)豊子
- 大P40 山崎 勲
- 大P41 毛利仁美
- 大P41 山川 静
- 大P42 高橋(貞利)厚江
- 大P43 佐藤慶一
- 大P43 和田 毅
- 大P44 平尾祐美
- E24 川上喜一郎
- E26 金井 清
- E26 岸田正昭
- E26 下久保恒久
- E26 由里正雄
- E27 森田啓司
- 大E1 東條(太田)喜代子
- 大E1 笹井常三
- 大E1 正保富三
- 大E1 柴田千蔭
- 大E1 玉城勝也
- 大E2 釜谷研造
- 大E2 森野(加藤)一恵
- 大E3 金山弥寿雄
- 大E4 山内正克
- 大E4 金澤輝彦
- 大E4 中道仁一郎
- 大E4 堀江幸夫
- 大E4 森 茂
- 大E5 大久保孝博
- 大E5 馬場弘行
- 大E5 門口泰宣
- 大E6 岸本年弘
- 大E6 日下寛治
- 大E6 清水重雄
- 大E6 田淵弘通

◆◆◆◆【咲耶会イタリア支部再建のお知らせ】◆◆◆◆

以前イタリアにミラノ支部が存在しましたが、2016 年頃から活動を停止しています。この度、イタリア支部を再建することになりましたが、イタリアに居住・駐在している卒業生のリストがありません。そこでお願いします。皆様の友人・知人でイタリア在住の方がおられましたら、咲耶会のホームページ、SNS で、咲耶会イタリア支部会員を募っている旨をお伝えいただけませんか？そして、現在、イタリア在住の方は、件名：イタリア支部入会希望、本文にお名前、メールアドレス、専攻語、卒業年(西暦)を、記入して咲耶会事務局のメールアドレス sakuya@sfs.osaka-u.ac.jp までご連絡ください。

市民向け「生涯学習の中国語」

大場百合(おおば りりな)著 (II R 2)

詳細は「丸善仙台アエル店おおばりりな」で検索。入手希望の方は 070-5320-7372 又は oba.ririna@gmail.com にご連絡下さい。



年会費支払者・賛助金寄付者一覧

年会費のお支払い、賛助金のご寄付ありがとうございました。
※ は年会費と賛助金の両方を納入いただいた方です。ご協力ありがとうございました。

大E6 六藤隆夫
大E7 井口 毅
大E7 伊田貴士
大E7 岩崎嘉蔵
大E7 河盛龍三
大E7 芳賀直美
大E7 箱木真澄
大E7 東 明澄
大E7 福岡正彦
大E7 藤田欣吾
大E7 森川悦男
大E8 石井純一
大E8 小笠原(大川)成子
大E8 菊井忠雄
大E8 清水正治
大E8 竹中 弘
大E8 松尾尚治
大E8 屋敷 潔
大E9 網本保榮
大E9 大崎昭三
大E9 加嶋廣繁
大E9 住江 漢
大E9 高木成佳
大E9 中谷昌弘
大E9 縄田(縄田)洋子
大E9 孝熾(吉田)明子
大E9 大西駿二
大E10 片岡利昭
大E10 丹野哲男
大E10 荒木(新田)泰子
大E10 西村茂忠
大E10 細川清秀
大E10 細川隆義
大E10 宗岡 徹
大E11 石原 隆
大E11 弓庭(大景)喜和子
大E11 紀野(奥田)道子
大E11 木戸淑夫
大E11 栗田洋夫
大E11 佐治洋一
大E11 少徳敏雄
大E11 伊達正幸
大E11 仲地弘善
大E11 西尾 善
大E11 山本富士雄
大E12 浅井正博
大E12 梅田一徳
大E12 大原逸夫
大E12 岡崎邦夫
大E12 中村明人
大E12 米田 篤
大E13 田中 篤
大E13 出口健治
大E13 横山憲次
大E14 今本美佐子
大E14 奥中西彦
大E14 田中昭一
大E14 常深建雄
大E14 渡辺(山田)麗子
大E15 佐々木康治
大E15 井上(富田)泰子
大E15 長尾和壽
大E15 足立(西本)幸枝
大E15 穂積健次
大E15 松本 博
大E15 村山久二子
大E15 山形幸彦
大E15 吉田征子
大E16 大西秀雄
大E16 今城(小田)八洲子
大E16 小林正愛
大E16 津田雄三
大E16 市川(波多野)美香子
大E16 宗田(広嶋)京子
大E17 塩崎天真
大E17 山村(長谷川)恵子
大E17 松見芳男
大E18 井上品二
大E18 大沢久美子
大E18 小野田裕司
大E18 坂本俊弘
大E18 竹田(中川)郁子
大E18 八木 一
大E19 柴田(植田)雅子
大E19 岡嶋正雄
大E19 谷岡 繁
大E19 藤岡 繁
大E19 船戸誠一郎
大E20 小泉(稲山)明紀子
大E20 交野正隆
大E20 河端省三
大E20 永田雅治
大E20 平井(太尾)佳代子
大E20 宮里 護
大E20 吉波和彦
大E21 原田(天上)知子
大E22 藤岡(上田)和代
大E22 高田信澄
大E22 倉吉(秀島)知恵子
大E22 福満雅子
大E24 田中(藤井)容子

大E25 高井知二
大E25 服部弘義
大E25 山口貴士
大E26 讃岐(小倉)紀久子
大E26 平田(金田)廣子
大E26 清水 隆
大E26 千代田(仲野)啓子
大E26 山崎神治
大E27 味岡保雄
大E27 大橋章子
大E27 溝口(岡本)よし子
大E27 狄野清彦
大E27 武田 聡
大E27 橋本(松林)かほる
大E28 安間一雄
大E28 小林信彦
大E28 横田(竹内)優子
大E28 山尾(松原)好子
大E28 宮島早苗
大E28 奥村弘史
大E29 尾崎 掬
大E29 大森(山口)佳子
大E30 山口(木村)好子
大E30 中野新一
大E31 朝戸理恵子
大E31 大橋達夫
大E31 河邊昭治
大E31 信田智人
大E31 辻本哲也
大E31 中吉宏幸
大E31 辻(野田)早苗
大E31 坂井(森)由美子
大E32 武知千津子
大E32 中路 亨
大E33 秋田(泉)佳子
大E33 宮本(梶浦)直子
大E33 山光亮太
大E33 松田(西浦)加奈
大E33 平野博一
大E34 高村洋一
大E34 多田昌美
大E34 田邊(瀨田)裕紀子
大E34 檜垣(山本)美保
大E35 明吉正知
大E35 長島(久保)文代
大E35 森岡佐紀
大E36 小野木(津坂)明恵
大E36 百留秀宗
大E37 浅野(白井)元子
大E37 小川(真崎)文香
大E38 金野(岩井)千春
大E38 平田朋絵
大E38 横瀬克之
大E39 吉本憲司
大E40 村田(木津)育子
大E40 野上(森田)麻理
大E41 山子 晃
大E41 佐々木 愛
大E41 井川(中村)千穂
大E42 池垣 徹
大E42 田中裕光
D21 堀 秀光
D21 前田健太郎
D21 寺澤健治
D26 金加行雄
D26 岡本弘次
D26 高岸芳郎
D26 辻本 実
D26 乙政 潤
D26 張田正宏
D26 深見 茂
D26 永野達夫
D26 畦地彰則
D26 西 彰
D26 北尾利夫
D26 西川 統
D26 富田省吾
D26 塚 亨
D26 永瀬秀夫
D26 望月敬三
D26 大野 宏
D26 鈴木庄太郎
D26 市場(伊藤)めぐみ
D26 峯本晴雄
D26 村上寧人
D26 村川 宰
D26 松本(本多)ヒロ子
D26 山中道宏
D26 永井龍太郎
D26 永瀬 亨
D26 岡田三郎
D26 内藤 丘
D26 三木達也
D26 平野 直
D26 吉川昌宏
D26 貴田昭和
D26 上田(天上)知子
D26 松尾洋二
D26 高岡寛治郎
D26 津田真人
D26 大塚敏雄
D26 白岩 修

大D21 飯尾勘一郎
大D21 杉浦敏廣
大D22 野野(高竹)伸子
大D22 小笠原(洞井)保夫
大D22 水谷 等
大D23 藤田 尚
大D24 岡田(川勝)真水(真美子)
大D25 遠藤 裕
大D25 高池久隆
大D25 中山敏朗
大D27 大槻孝昭
大D28 金井孝明
大D28 赤井真也
大D29 草地芳孝
大D29 富本明則
大D29 安井昌子
大D30 橋本圭司
大D30 高島光志
大D31 平井博英
大D31 松井洋司
大D34 原 千史
大D34 油谷(村山)真美
大D37 津村(岩崎)綾子
大D42 東方(川西)玲子
大D45 麻田隆行
大D45 山口美穂子
大D45 荒木和夫
大D45 松浦弘司
大D45 宮辻政夫
大D45 中吉宏幸
大D45 岩瀬正一
大D45 中島裕司
大D45 若松(後藤)君子
大D45 中野 均
大D45 清水(森田)直子
大D45 宮崎京子
大D45 両角(乾)多可乃
大D45 両角信幸
大D45 溝部(稲井)みどり
大D45 奈良岡(松田)明子
大D45 星野 信
大D45 荒瀬規之
大D45 松野(於勢)世央子
大D45 眞浦まゆみ
大D45 近藤昌史
大D45 高橋真理
大D45 丸橋正三
大D45 大森久美子
大D45 片田 聡
大D45 田邊 欧
大D45 山下直幸
大D45 伊藤晴彦
大D45 岩佐拓朗
大D45 石黒 暢
大D45 桜井(渡辺)史子
大D45 和田方子
F21 福田玲三
F25 中西俊夫
F25 高輪 琢
F25 原 勇
F25 糸井康雄
F25 三好憲治
F25 原田 修
F25 木村義彦
F25 恒成喜久子
F25 田 香 豊
F25 小川史治
F25 酒井 斌
F25 千布正人
F25 幾代雄四郎
F25 川岸 清
F25 福知 晃
F25 兼崎勝行
F25 長縄正治
F25 大藤 勲
F25 高井光子
F25 山本 弘
F25 丸山一朗
F25 水野正明
F25 田中秀彦
F25 古畑 功
F25 相沢定喜
F25 星野(猪口)道子
F25 成原誠一
F25 朝妻(乾)和子
F25 仲本(山本)邦子
F25 田原 明
F25 西村掃司
F25 神崎康彦
F25 神崎(岡野)信子
F25 柿崎和恵
F25 宮川文子
F25 坂口(谷口)善子
F25 岡本耕蔵
F25 安部誠治
F25 小畑克之
F25 奥田一夫
F25 田中俊訓
F25 大亀(富田)恵子
F25 奥石(永見)美和子
F25 吉田(松本)潤子

大S12 赤田壯八
大S12 萩原準子
大S12 安野正起
大S12 山下 勇
大S13 倉島(櫻井)孝子
大S13 市川英二
大S13 貝谷安宏
大S13 大倉(上島)美和子
大S13 酒井(鬼頭)礼子
大S13 細 英機
大S13 森 庸夫
大S14 柴田 進
大S14 本城 清
大S14 満谷康治
大S14 今村(橋本)祐子
大S14 浦田滋子
大S16 喜多(小畑)美葉
大S17 小島(田中)典子
大S17 藤野(松村)富美
大S17 赤崎(川路)裕子
大S17 藤原(城口)智子
大S17 吉田久哉
大S17 齊藤きょう子
大S17 奥井(岡本)純子
大S17 中家 涉
大S17 矢加部 桜
大S17 吉開秀勝
大S17 長谷川淳三
大S17 峯島(高垣)淑子
大S17 吉沢(白土)裕子
大S17 岡上(高橋)典子
大S17 山岡 哲
大S17 金子研二
大S17 小南重治
大S17 永田一恵
大S17 松木(横手)美知子
大S17 粟野修司
大S20 西村(小松原)秀也
大S20 松宮良衛
大S20 吉川(鴨井)由香利
大S20 辻田(武村)敦子
大S20 辻形希和子
大S20 橋本誠司
大S20 吉田(林)孝子
大S20 田中塚代子
大S21 信田(田邊)阿芸子
大S21 都村晃治
大S21 山田善郎
大S21 西村貞夫
大S21 西村 浩
大S21 吉田秀太郎
大S21 矢上則嘉
大S21 中原孝三
大S21 松永和泰
大S21 杉本禮三
大S21 竹内 信
大S21 長谷川匡則
大S21 丸木正登
大S21 竹原順三郎
大S21 本多祥二
大S21 三宅正澄
大S21 木永丈澄
大S21 今西統衍
大S21 木村義彦
大S21 田中博一
大S21 内藤秀彦
大S21 田尻福彦
大S21 中野正治
大S21 森 幸彦
大S21 志武善登
大S21 益田(川崎)喜彰
大S21 川添義隆
大S21 清水忠彦
大S21 大木 脩
大S21 塚本修造
大S21 和田 衛
大S21 辻田義尚
大S21 早川幸夫
大S21 原 秀雄
大S21 山本紘二郎
大S21 吾郷健二
大S21 大西昌三
大S21 今川(一見)彰男
大S21 川瀬光彦
大S21 中村邦雄
大S21 西川 進
大S21 根岸史修
大S21 直場徳有
大S21 東谷頼人
大S21 広瀬彰彦
大S21 八木三木男
大S21 山口勝三
大S21 庵原専三
大S21 岡本耕蔵
大S21 小笠原 肇
大S21 小畑克之
大S21 小上馬昭雄
大S21 新出武雄
大S21 山口 晃
大S21 高島陸雄
大S21 藤田博之

大S44 加藤(杉山)真紀
大S45 吉田明宏
大PB31 山田(廣瀬)由美子
大PB33 今村俊昭
大PB35 倉島(櫻井)孝子
大PB38 伊藤淳一
大PB41 三井(岡崎)裕美
大PB42 軽辻 郁
大PB42 森本(月井)圭子
大PB43 太田和麻
大PB45 一瀬 淳
大R2 和田政雄
大R4 玉木功一
大R7 宮田敏郎
大R9 田村 恒
大R10 大建雄志郎
大R10 坂下善亮
大R10 村孝一
大R11 笹井明夫
大R11 野村英樹
大R11 百武明彦
大R11 濱田(古海)ケイコ
大R11 横井弘吉
大R12 澤田軍治郎
大R12 藤本良一
大R13 足立 勝
大R13 由良(河北)薫
大R14 岡田高司
大R14 村上(淡中)美枝子
大R15 岩浅武弘
大R15 田原佑子
大R15 渡辺 昭
大R17 桐山久行
大R17 林 重行
大R17 川野智美
大R17 田村由美
大R17 澤田秀明
大R17 前川佳久
大R19 松原繁生
大R20 稲富哲夫
大R20 三枝 仁
大R20 牧野(山口)晶子
大R20 吉岡伸一
大R20 吉嶺恵助
大R21 岸本直己
大R21 萬壽(白江)妙子
大R21 久光定雄
大R22 川喜田まり子
大R22 幸田正章
大R22 中村(楳木)咲子
大R22 杉野(南出)ゆり
大R23 隅田 毅
大R23 舟木三子男
大R23 樽井(前田)一仁
大R23 片山(松村)ふえ
大R23 山口雅彦
大R23 吉田雅美
大R24 白鳥(山根)由美子
大R25 森川(川上)晴
大R25 高木 亨
大R25 田山一郎
大R25 水池亮一
大R25 佐伯(湯川)晴子
大R25 山本(横井)はるみ
大R26 八木(大山)ゆり子
大R26 水野茂樹
大R27 水木 弘
大R28 岩崎公德
大R28 品川 透
大R28 進藤(渡)喜子
大R28 角(山口)素子
大R29 川辺 亮
大R29 新宮敦雄
大R30 藤原(松田)和子
大R31 中本(川崎)浩美
大R32 竹内 浩
大R32 中松基史
大R32 白井(福井)元子
大R33 西村(後藤)加代
大R33 橋本優子
大R34 縄田(川村)真織
大R34 菅山祥子
大R34 藤本敦朗
大R34 宮永祐子
大R35 崔 泰秀
大R35 西 正重
大R37 中谷康範
大R37 山村浩之
大R38 風岡 斉
大R38 森田朋宏
大R40 片岡 友
大R40 堀内(齊内)明子
大R42 下野祐二
大R42 三島(小原)桃子
大R43 和田雅代
大R45 稲葉(上条)美和子
大J39 嶋田かをり
大J41 鈴木聡司
大J41 横山(宮)早苗
大J42 高橋康浩
大J47 高橋陽大
大J47 増田(酒井)亜澄

言語大50 西村幸起
言語大50 山本敦夫
言語大51 安居さやか
言語大53 和田(小貫)美咲
言語大53 根本紘実
言語大57 肥後(東)美由紀
言語大57 梅谷 綾
言語大57 井川(渡部)亜希子
日本語大46 重盛直子
日本語大49 坂西(栗木)真由美
日本語大50 ハウグ(小林)雅美
日本語大50 蛭沼芽衣
日本語大56 伊澤明香
日本語大59 藤本(森田)千博
比較大50 吉田(北川)理恵
比較大52 橋本明郎
比較大52 箭内(藤田)愛
比較大55 仲西(高嶋)朋子
比較大55 菅原哲也
国際大46 大西(山野)優子
国際大47 松村嘉代
国際大48 尾和潤美
国際大48 三上(藤川)祐子
国際大49 藤井俊宏
国際大49 浅野(松崎)紀子
国際大54 田端寛史
国際大55 大西(片岡)由里
国際大58 作田大樹
開発大44 近藤(川口)裕子
開発大45 大矢(貞弘)治美
開発大47 金行抄穂
開発大48 治田義章
開発大49 林 重行
開発大50 川野智美
開発大51 田村由美
開発大52 谷田郡(牛嶋)久子
開発大54 若宮 武
開発大58 真砂周子
開発大58 川上(山島)あゆみ
開発大59 齋藤(山藤)咲希
開発大59 西 彩香
大C45 海老名健司
大C46 瀨島千裕
大C48 高根(南本)円理
大C49 浅野(大塚)恵子
大C53 朝倉陽介
大C53 石崎浩司
大C53 山口大輔
大C60 浅野哲生
大K46 孫 美幸
大K49 大間知(永井)清美
大N52 藤村(井上)和美
大PH56 美馬香都子
大T47 奥村泰子
大T50 高橋(小澤)育水
大T53 鹿村共平
大T57 竹野(石井)清美
大T58 佐々木友香
大T59 本田栄介
大B45 井立(中山)由貴子
大B48 杉山更紗
大B57 久我勇一
大H46 明石(荒川)尚子
大U46 多喜大祐
大U54 松田義夫
大U58 中村 悠
大U58 若原なつ子
大A45 浅田あゆみ
大A46 堀尾明子
大A54 栗田昌宏
大A55 佐藤 航
大A57 高橋留唯
大A57 齋藤裕行
大P52 丸山(森本)尚子

言語大50 西村幸起
言語大50 山本敦夫
言語大51 安居さやか
言語大53 和田(小貫)美咲
言語大53 根本紘実
言語大57 肥後(東)美由紀
言語大57 梅谷 綾
言語大57 井川(渡部)亜希子
日本語大46 重盛直子
日本語大49 坂西(栗木)真由美
日本語大50 ハウグ(小林)雅美
日本語大50 蛭沼芽衣
日本語大56 伊澤明香
日本語大59 藤本(森田)千博
比較大50 吉田(北川)理恵
比較大52 橋本明郎
比較大52 箭内(藤田)愛
比較大55 仲西(高嶋)朋子
比較大55 菅原哲也
国際大46 大西(山野)優子
国際大47 松村嘉代
国際大48 尾和潤美
国際大48 三上(藤川)祐子
国際大49 藤井俊宏
国際大49 浅野(松崎)紀子
国際大54 田端寛史
国際大55 大西(片岡)由里
国際大58 作田大樹
開発大44 近藤(川口)裕子
開発大45 大矢(貞弘)治美
開発大47 金行抄穂
開発大48 治田義章
開発大49 林 重行
開発大50 川野智美
開発大51 田村由美
開発大52 谷田郡(牛嶋)久子
開発大54 若宮 武
開発大58 真砂周子
開発大58 川上(山島)あゆみ
開発大59 齋藤(山藤)咲希
開発大59 西 彩香
大C45 海老名健司
大C46 瀨島千裕
大C48 高根(南本)円理
大C49 浅野(大塚)恵子
大C53 朝倉陽介
大C53 石崎浩司
大C53 山口大輔
大C60 浅野哲生
大K46 孫 美幸
大K49 大間知(永井)清美
大N52 藤村(井上)和美
大PH56 美馬香都子
大T47 奥村泰子
大T50 高橋(小澤)育水
大T53 鹿村共平
大T57 竹野(石井)清美
大T58 佐々木友香
大T59 本田栄介
大B45 井立(中山)由貴子
大B48 杉山更紗
大B57 久我勇一
大H46 明石(荒川)尚子
大U46 多喜大祐
大U54 松田義夫
大U58 中村 悠
大U58 若原なつ子
大A45 浅田あゆみ
大A46 堀尾明子
大A54 栗田昌宏
大A55 佐藤 航
大A57 高橋留唯
大A57 齋藤裕行
大P52 丸山(森本)尚子

大DM50 高柴(青木)加奈子
大DM50 佐藤(永野)香織
大DM52 内田(小池)玲子
大SD49 野口(山田)麻衣子
大D45 牧野喜弘
大D46 坂井(幸地)晶子
大D46 森本安紀
大D47 前田吉太郎
大D56 奥村直敏
大D57 永尾真美
大D57 楠木光司
中北歐大E46 中川裕美子
中北歐大E52 中川裕美子
中北歐大E59 林(嶋田)彩花
大F45 浦本 華
大F46 岡 隆之
大F46 柏谷(富永)真紀
大F48 渡邊(太田)美和
大F51 岩岸(高嶋)亜紀子
大IT50 門脇(山田)奈未
大IT56 波多野亮介
大IT56 山中 匠
大IT57 重(宿院)美里
大IT58 富田沙織
南欧大S48 中村聖史
南欧大S59 林(嶋田)彩花
北米大E45 天野貴史
北米大E45 高西和佳
北米大E47 川島(草間)紗織
北米大E47 高橋光男
北米大E47 中谷信芳
北米大E55 水谷(石村)文
北米大E55 北村慶次
中南米大S45 原田(小林)由子
中南米大S48 中村 健
中南米大S55 八木(宮脇)由貴
中南米大S63 西中聖大
中南米大S63 海住知里
大C3 河野直也
大C6 橋嶋広基
大C7 興水 凜
大C7 満仲陽平
大C8 近藤怜奈
大C8 齊藤涼花
大C8 田川秀明
大C8 溝口洋津美
大C11 幸 英隆
大C12 津谷省三郎
大C12 福島勝彦
大C12 三次召尚
大C12 幸谷隆實
大C12 藤川雅行
大C11 林 沢松
大C12 下山隆彦
大C12 根岸(神保)君江
大C13 三村 誠志
大C14 西村勝志
大C14 早稲田良彦
大C16 村上大洋
大C20 井村 隆
大C20 佐藤孝志
大C20 橋本恭佑
大C21 小島(中尾)紀代子
大C22 今村増徳
大C22 広川由美
大C25 西嶋理恵
大C26 宮尾 勝
大C27 瀧本文治
大C28 常 義典
大C29 堂山綾子
大C29 伊延達司
大C28 八亀璃子
大C29 吉松優衣
大C29 畔取亜矢乃
大C29 有馬史央
大C29 中嶋弘子
大C29 若原正浩
大C29 有年孝将
大C29 松田和憲
大C29 倉場基行
大C29 橋山水平
大C29 鈴木真生子
大C29 上地尚樹
大C29 関 元奎
大C29 上野仁嗣
大C29 寺尾理恵子
大C29 横田彩子
大C29 麴香汐理
大C29 中野満里奈
大C29 山室聡美
大C29 大倉早耶香
大C29 高熊(吉田)知可
大C29 掛川敦史
大C29 本園隆義
大C29 増田歩実
大C29 三好美月
大C29 柳岡敬吾
大C29 岡田(多田)歩美
大C29 小西智也
大C29 藤江宗達
大C29 水間健太
大C29 中富凉介
大C29 松藤(山下)泰代
大C29 荒木康行
大C29 市毛奈都美
大C29 笠嶋祐志
大C29 宇佐美貴子
大C29 吉中真優
大C29 東根智樹
大C29 黒田駒香
大C29 平山理沙
大C29 谷岡翔平
大C29 前田咲織
大C29 山中美乃

大F3 北村 彩
大F5 中上奈苗
大F8 京野初音
大F10 東 美里
大F10 高木紗也香
大IT10 瀬戸崇之
大IT10 永江知太
大IT10 水間健太
大S4 七條憲正
大S5 立川隆彦
大S5 早川友賀
大S6 福本清香
大S8 山本奈央
大PB3 町屋瑠璃
大PB3 脇田和史
大PB4 山本真悠子
大PB5 佐々木健太
大PB7 多門丈実
大J3 橋高めぐみ
大J4 平田(石田)絵美
大J8 西畑宏紀
短C1 泉 清二
短C3 佐々木淳子
短E5 斉藤正典
短E5 佐野仁紀
短D4 久國宣弥
短F2 乾 昭
短F4 木下(永田)美佐子
短F5 豊田英男
短S2 観月浩慈
短S4 峯松(川上)順江
短S5 大田勝二
短R2 金田茂和
短R5 林(岩田)省治
短C1 幸 英隆
短C2 津谷省三郎
短C2 福島勝彦
短C5 三次召尚
短C6 幸谷隆實
短C8 藤川雅行
短C11 林 沢松
短C12 下山隆彦
短C12 根岸(神保)君江
短C13 三村 誠志
短D29 藤澤美知司
短D31 藤崎(藤谷)恵
短D41 野崎真二
短C20 井村 隆
短C20 佐藤孝志
短C20 橋本恭佑
短C21 小島(中尾)紀代子
短C22 今村増徳
短C22 広川由美
短C25 西嶋理恵
短C26 宮尾 勝
短C27 瀧本文治
短C28 常 義典
短C29 堂山綾子
短E1 谷本(磯本)文子
短E2 野村信二
短E2 後藤(中尾)まゆみ
短E3 杉下達也
短E3 西出恵子
短E3 水戸章二
短E8 大田 肇
短E8 西田達昭
短E9 大西 有
短E9 小野(佐々井)千波
短E10 黒木一吉
短E10 斉藤雄司
短E10 林 修司
短E12 高瀬少輔
短E14 粟津昌宏
短E14 橋本昌彦
短E15 野本裕之
短E17 天野浩一
短E18 金光 守
短E18 岡内(富永)三重
短E20 新庄谷洋子
短E20 福原慶尚
短E23 丸田雅信
短E24 神 研二郎
短E27 霜野(坂口)真知子
短E28 岡本敏之
短E28 中村 泉
短D4 小西智也
短D6 藤江宗達
短D7 水間健太
短D10 中富凉介
短D11 松藤(山下)泰代
短D2 荒木康行
短D2 市毛奈都美
短D2 笠嶋祐志
短D3 宇佐美貴子
短D3 吉中真優
短D4 東根智樹
短D5 黒田駒香
短D5 平山理沙
短D7 谷岡翔平
短F11 井上洋治
短F13 杉元 正
短F14 高田 正
短F19 田坂雅弘

短F22 永田(棚橋)杉子
短F22 松山晋二
短F25 整本昌孝
短F27 野本久美子
短F28 植木初江
短F28 濱田佳秀
短I1 山川太三
短I2 藤谷(貫洞)康代
短I54 八野雅博
短I56 本山(郭)星求
短I56 桃井(北川)みち子
短I56 松本時恵
短I56 桃井 満
短I10 尾下守弘
短I10 近藤哲二
短I11 田口照彦
短I12 浅井延亮
短I12 米田明正
短I15 仲谷真子
短I18 畑中(真砂)美代子
短I20 鳥淵登史子
短I22 榎本寿之
短I22 富田和子
短I23 植田和彦
短I23 森田(北尾)文枝
短I25 平山國代
短I26 曾根 悟
短I27 菊本孝一
短I29 横田雅子
短I33 横田芳一
短I19 小澤正三
短I19 増田裕氏
短I11 中津川伸一
短I13 中西英次
短I25 芝正人
言語夜30 野田文子
言語夜31 麻田晴枝
比較夜30 中道望美
比較夜35 小山村郁江
国際夜36 藤原信也
国際夜38 入江(伊藤)由佳
夜C32 岩吉浩一
夜C32 堀澤(良充)潤
夜R32 藤澤美知司
夜D29 錦織光男
夜D31 藤崎(藤谷)恵
夜D41 野崎真二
中北歐夜E30 小原鄭志
中北歐夜E30 富永(鄭)真己
中北歐夜E39 堤 真佐美
中北歐夜E41 山本智恵美
夜F37 五十畑浩平
南欧夜S35 丹羽由衣
南欧夜S36 宇谷志樹
南欧夜S43 吉村卓也
北米夜E30 江川昭昭
北米夜E36 広井康延
中南米夜S29 有澤恭子
中南米夜S31 小島祥美
院C12 青野繁治
院C15 谷川 毅
院C18 芦木通保
院C28 島 由子
院K27 高橋 学
院I13 高橋 明
院I11 藤井章吾
院A22 竹村景子
院P27 竹原 新
院D2 友田舜三
院D7 橋根重和
院D16 福元圭太
院F1 田中由里子
院F8 柴山(森田)久代
院F15 安慶名 操
院F20 亀井克之
院S4 山蔭(蔭山)昭子
院S11 東 明彦
院S13 大内 一
院R1 東井(岡谷)充子
院R20 須佐多恵
院R22 上原順一
院J16 寺尾(渡邊)裕子
院J22 脇田(坂口)真知子
院J28 門脇(門脇)薫
院前東南75 宮井美笑子
院前口東欧4 江口清子
院前中北歐8 久保田勝己
院前南欧3 港道すみ江
院前ア711 川邊靖子
院前日本3 加藤庸子
院前日本7 ミグリアーチ(下園)慶子
院後言語3 西村君代
院後言語3 村上明美
院後言語9 脇坂(佐々木)洋子
院後言語9 須藤 潤
院後言語12 金澤眞智子
院後言社7 佐藤晶子
院後言社8 山西敏博

咲耶会(同窓会)本部・支部一覧表

本部	会長	連絡先	E-mail or TEL/FAX
	大水 勇(大C15)	事務局 〒562-8678 箕面市船場東3-5-10 大阪大学 箕面キャンパス 外国語研究講義棟1F	TEL&FAX (072)728-2327 sakuya@sfs.osaka-u.ac.jp
支部	支部長名		
北海道	笹山喜市(大IP25)	〒003-0029 札幌市白石区平和通9丁目北1番29号	sasayama@sapporo.email.ne.jp
東北	黒木一吉(II E10)	高橋啓介(大PH52) 〒982-0821 仙台市太白区松が丘15-7	cb250Keisuke@yahoo.co.jp
東京	久保義昭(大S14)	樽井一仁(大R23) 〒114-0003 東京都北区豊島5-2-20-1603	taru2742@yahoo.co.jp
長野	山西敏博(院後言社8)	〒386-0034 長野県上田市中之条371-7-202	ezm11541@nifty.ne.jp
名古屋	白岩 修(大D19)	〒465-0066 名古屋市中区東区梅森坂西1-801-107	shiraiwa1123@yahoo.co.jp
岐阜		丹羽宏造(大IN7) 〒508-0101 岐阜県中津川市苗木4827-48	k.niwa@ena-gf.jp
石川	楠根重和(院D7)	〒920-0813 石川県金沢市御所町1-373	forelle2003@yahoo.co.jp
福井	山下裕己(大S23)	〒915-1232 越前市二階堂町18-8	h.yamashita@fukuishimbun.co.jp
京都	宮川徳三(大S16)	西尾 齊(大E11) 〒606-8404 京都市左京区浄土寺下南田町70	dkals108@kyoto.zaq.ne.jp
奈良		佐柄保夫(大C26) 〒631-0804 奈良市神功1-4-125	sagara07@hera.eonet.ne.jp
大阪	金村義夫(II E10)	〒540-0021 大阪市中央区大手通3-3-3 日宝東本町ビルBF101号	ykanemun@forest.ocn.ne.jp
神戸	大森久美子(大DM36)	〒662-0835 西宮市平木町3-21 ルモンド西宮229号	kkmom93@yahoo.co.jp
播但	釜谷研造(大E2)	〒675-0038 加古川市加古川町木村140-8	FAX (079)424-7777
丹波	岸田 功(大IN15)	〒669-3309 丹波市柏原町柏原47	rskq59484@zeus.eonet.ne.jp
香川	大西 晏(R25)	森本勝幸(大S15) 〒760-0080 高松市木太町九区843-1	morimoto.kren@docomo.ne.jp
徳島		小田敏治(大IN21) 〒770-0003 徳島市北田宮3丁目2-34	tom_oda@emn.ne.jp
愛媛	垣生千春(大IP40)	〒799-2460 愛媛県松山市菟木甲119-8	hazar-bahar.julai-25@ezweb.ne.jp
高知		周藤健史(大S30) 〒780-0024 高知市前里335-7	tkmrn1917825@me.pikara.ne.jp
岡山	草野 徹(大DM23)	〒701-1221 岡山市北区芳賀5112-98	akirakusano0319@i.softbank.jp
広島		山岡 哲(大IT20) 〒733-0814 広島市西区己斐西町19-37	sakuya.hiro555@gmail.com
鳥取	小原越史(中北欧夜E30)	〒683-0802 鳥取県米子市東福原5-8-26-202	a2coh@yahoo.co.jp
島根	勝部由紀夫(大D33)	〒693-0101 島根県出雲市上島町1363	yukiokatsube@icloud.com
福岡	吾郷健二(大S10)	中尾史子(大IN27) 〒815-0083 福岡市南区高宮2-18-12-501	nfumi3191@gmail.com
熊本	かじえいせい(大S21)	〒861-2405 熊本県阿蘇郡西原村宮山1547-1	dreamincountry@gmail.com
宮崎	近藤哲二(II S10)	〒880-1101 宮崎県東諸県郡国富町大字本庄1720-2	tekondo64@gmail.com
沖縄	金城徹男(II D5)	鈴木正士(大S36) 〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1 琉球大学法文学部国際言語文化学科	msuzuki@grs.u-ryukyuu.ac.jp
北京	中嶋清治(大C21)		
		高橋咲代(阪大C5)	北京市(以下略) sakiyo12321@yahoo.co.jp
上海	渡邊 洋(大C29)	伏村和展(大C59)	sh_oufs@yahoo.co.jp
香港	太田明雄(大IT26)	小林敏子(東アジア大C57)	Flat 9B, Chuen Fat Building, 9 Valley Road, Ho Man Tin, Kowloon, Hong Kong 4styles.enterprise@gmail.com
ソウル	渡邊浩一(大K35)		Daiwa Securities Capital Markets Korea Co., Ltd 20 Fl.&21Fl., OneIFC, 10 Gukjegeumyung-Ro, Yeongdeungpo-Gu, Seoul, Korea kwatanabe@kr.daiwacm.com
ジャカルタ	坂口広之(大IN36)		Bandung, Indonesia (以下略) darwin0708@gmail.com
		高岡容子(大IN35)	Jakarta, Indonesia (以下略) ytakaoka@cbn.net.id
マニラ	テンマタイ都喜代(大E25)		# 16 Waling-waling St., Tahanan Village, Paranaque City, Metro Manila Philippines 1720 tsukiyotenmatay@gmail.com
バンコク	川村芳範(大TV24)		Ms. Noriko Sakamoto800/940 Ashton Chula-Silom, Rama IV Road, Si Phraya, Bangrak, Bangkok 10500, Thailand kawamura-yoshinori@earth-chem.co.jp osakagaidai@bkk@yahoo.co.jp
ハノイ外語会	中本修一(開発・環境大48)		shuichi.nakamoto@mizuho-cb.com
ヤンゴン外語会	松島勇治(大B27)		centro318@gmail.com
ニューヨーク		石田佳子(大D29)	230 East 44th Street # 3C New York, NY 10017 USA hime.yoshikoishida@gmail.com
ロサンゼルス	望月一郎(大E25)		951 Kingsley Drive Arcadia, CA91007 USA ichimochizuki@yahoo.co.jp
		西川ノーマン裕子(大TV36)	4060 Alla Road, Los Angeles, CA 90066 USA hirokonaumann@gmail.com
サンパウロ	草薙綾子(中南米大PB48)		Alameda Santos, 705-cj. 17-Cerq. Cesar Sao Paulo-SP-Brasil-01419-902 wec@wecbrazil.com
ロンドン			
デュッセルドルフ	片岡 惇(大S4)	小玉亜衣(大D52)	Grenzstr. 33 40670 Meerbusch Germany c/o Mr. Takao MATSUMOTO 11 Rue Delabordere 92200 Neuilly / Seine France t.matsumoto@skyblue.fr
パリ	松本隆男(大F4)		
ミラノ			
モスクワ	岩本 茂(大R18)		JAPAN TOOL SERVICE LTD 117105 Warshavskoe Shosse Dom7- Str5, Moscow, Russia iwamoto@jtools.biz
イスタンブル	片田 聡(大DM36)		satoshi.katada@molgroup.com



株式会社 サラト

TEL 0120-953-070
受付時間 月～金 9:30～12:00 / 13:00～17:00

同窓会幹事代行承ります。

※(株)サラトは同窓会の名簿管理会社です。



令和4年度 咲耶会役員名簿

名誉会長	竹村景子	院 A22	幹事	白岩 修	大 D19	幹事	菊池信孝	開発大 57
会長	大水 勇	大 C15	〃	三次召尚	II C5	〃	福山泰海	大 H59
副会長	井上泰子	大 E15	〃	西村朋也	大 TV22	〃	後藤 峻	南欧夜 F42
〃	小林正受	大 E16	〃	石野伸子	大 D22	大学役員	岸田文隆	院 K15
〃	荒木和夫	大 DM18	〃	笹原敬生	大 IN27	〃	村上忠良	大 TV36
〃	樽井一仁	大 R23	〃	大森久美子	大 DM36	会計監査	岡本晶子	大 S29
幹事	西尾 齊	大 E11	〃	上原順一	院 R22	〃	野垣和美	大 P33
〃	藤本和貴夫	大 R12	〃	福田義昭	院後言語 1	相談役	少徳敬雄	大 E11
〃	前田征信	大 K16	〃	大江昌子	大 B43			
〃	深川泰博	大 E16	〃	並川嘉文	院前日本 7			

『咲耶』編集委員会 委員長 井上泰子 / 委員 上原順一・並川嘉文 / 事務局 天野豊子・西田貞子・大熊美紀

◆ 個人情報の取扱いについて

咲耶会は個人情報保護法遵守の立場から会員個人情報については適切に扱うことが重要であると考えています。

- 登録の個人情報は、下記の目的に利用します。
 - 会員のデータ管理
 - 総会・同窓会活動各種案内
 - 会報『咲耶』の送付
 - 各支部からの申請に基づき、当該地域のデータ提供
 - 語科・同期会責任者からの申請に基づき、データ提供
 - その他会則に基づく活動
- 自己情報の提供は任意です。
- 個人データの本人からの請求があった場合には、開示、訂正、追加、利用停止、削除を行います。
- 同窓生情報のお問合せは、相手方会員の了解があった場合のみのご案内といたします。
- 登録の個人情報は委託先も含め、機密保持に万全を尽くします。

編集後記

『咲耶』33号をお届けします。
創立100周年が過ぎ、次の100年へのスタートラインに立ったわが母校。混迷を深める世界情勢の中であって、どのような未来像を描くのか。その問いは同窓会である咲耶会にも向けられています。世代を超えて同窓生の心の拠り所となる、持続可能な同窓会組織の構築に向けて、皆様の叡智と力を結集して行かねばなりません。その責務の一方で、会報『咲耶』を通じ、母校と同窓生を繋ぐ喜びを糧として、編集作業に取り組んでいます。
創設時の9言語に始まり、25専攻語を擁するまでに発展した母校ですが、その成長の象徴と言えるのが、エントランスホールに

そびえ立つ巨大な大理石の石柱です。今号では、そこに刻まれた25専攻語によるメッセージを特集として取り上げました。
コロナ禍とは言え、行動制限がやや緩やかになった今年は、一年間延期になっていた阪大創立90周年・外大創立100周年記念式典、3年ぶりに復活した「夏まつり」の開催等、大学にも本来の活気が戻りつつあります。2023年度末には北大阪急行の延伸による新駅も完成。地域との連携により、「地域に生き世界に伸びる」大学として、存在感を増すことでしょう。
『咲耶』は母校の今を伝えつづけます。皆様の温かいご支援を
お願い申し上げます。
(編集委員会)



会報 No.33 (2022)

発行 令和4年9月

発行者 咲耶会(大阪大学外国語学部・大阪外国語大学同窓会)

〒562-8678 箕面市船場東3-5-10
大阪大学 箕面キャンパス 外国語研究講義棟1F

☎ 072(728)2327 ✉ sakuya@sfs.osaka-u.ac.jp

🏠 sakuyakai.net 🌐 www.facebook.com/SAKUYAKAI

郵便払込口座番号: 00910-7-21536 加入者名: 咲耶会



咲耶会 メールアドレス
QRコード



咲耶会 facebook
QRコード